

平成26年度

信州大学入学者選抜要項



**SHINSHU  
UNIVERSITY**

平成26年度信州大学入学者選抜日程の概要

区分	学部等	大学入試センター試験	出願期間	第一次選抜合格発表	個別学力検査等期日	第二次選抜合格発表	合格発表	入学手続	追加合格	入学式		
前期日程	全学部 (除:教育学部、医学部 医学科)	1/18(土) ~1/19(日)	1/27(月) ~2/5(水)		2/25(火)	3/6(木)	3/7(金) ~3/15(土)	3/28(金) ~3/31(月)		4月4日(金)		
	教育学部 医学部医学科				2/25(火) ~2/26(水)							
後期日程	全学部 (除:医学部医学科、工 学部機械/システム工、電気 電子工、土木工、物質工 の各学科)		1/18(土) ~1/19(日)	1/27(月) ~2/5(水)		3/12(水) (除:経済学部、理 学部物理科学科)	3/20(木)				3/24(月) ~3/27(木)	
	医学部医学科					3/12(水) ~3/13(木)						
推薦Ⅱ	理学部物理科学科		1/18(土) ~1/19(日)	11/25(月) ~11/29(金)		12/14(土)	2/7(金)				2/12(水) ~2/19(水)	
	医学部医学科			12/2(月) ~12/6(金)		12/13(金)					2/10(月) ~2/19(水)	
	工学部 (除:建築学科)			12/13(金) ~12/20(金)		1/28(火)					2/12(水) ~2/19(水)	
A O	理学部地質科学科			1/18(土) ~1/19(日)	9/2(月) ~9/13(金)	10/2(水)	10/12(土)				11/6(水)	12/5(木) ~12/13(金) 2/12(水)~2/19(水)
	理学部 数理・自然情報科学科										11/6(水)	12/5(木) ~12/13(金)
	農学部森林科学科				8/5(月) ~8/9(金)	9/10(火)	9/24(火) ~9/25(水)					10/8(火)
推薦Ⅰ	教育学部				1/18(土) ~1/19(日)	11/1(金) ~11/7(木)					11/23(土)	12/5(木)
	経済学部						11/16(土) 又は11/17(日)	11/20(水)	11/21(木) ~11/28(木)			
	理学部 化学科、物質循環理学科	11/25(月) ~11/29(金)					12/14(土)	1/8(水)	1/9(木) ~1/16(木)			
	医学部保健学科						11/16(土)	12/5(木)	12/9(月) ~12/13(金)			
	工学部	11/1(金) ~11/7(木)					11/14(木)	11/26(火)	11/27(水) ~12/4(水)			
	農学部					11/16(土)						
	繊維学部					11/21(木)	11/29(金)	12/2(月) ~12/10(火)				
帰国子女	人文学部	1/18(土) ~1/19(日)	1/6(月) ~1/10(金)				2/6(木)	2/13(木)	3/7(金) ~3/15(土)			
	理学部		1/20(月) ~1/24(金)			2/21(金)	3/6(木)	3/7(金) ~3/14(金)				
	工学部		1/16(木) ~1/23(木)			2/13(木)	2/19(水)	2/20(木) ~2/27(木)				
	農学部 食料生産科学科、応用 生命科学科		1/27(月) ~2/5(水)			2/25(火)	3/6(木)	3/7(金) ~3/15(土)				
	繊維学部		11/1(金) ~11/7(木)		11/21(木)	11/29(金)	12/2(月) ~12/10(火)					
中等 等引子 橋女	工学部		1/18(土) ~1/19(日)	1/16(木) ~1/23(木)		2/13(木)	2/19(水)	2/20(木) ~2/27(木)				
社会人	教育学部			11/1(金) ~11/7(木)		11/23(土)	12/5(木)	12/6(金) ~12/16(月)				
	医学部保健学科			9/18(水) ~9/24(火)		10/19(土)	11/7(木)	11/11(月) ~11/15(金)				
	工学部			1/16(木) ~1/23(木)		2/13(木)	2/19(水)	2/20(木) ~2/27(木)				
私費 外国人 留学生	人文学部			1/18(土) ~1/19(日)	1/6(月) ~1/10(金)		2/6(木)	2/13(木)	3/7(金) ~3/15(土)			
	教育学部				1/27(月) ~2/5(水)		2/25(火) ~2/26(水)	3/6(木)				
	経済学部	1/7(火) ~1/15(水)				2/6(木) ~2/7(金)	2/12(水)	2/13(木) ~2/28(金)				
	理学部	1/20(月) ~1/24(金)				2/21(金)		3/7(金) ~3/14(金)				
	医学部医学科					2/25(火) ~2/26(水)	3/6(木)	3/7(金) ~3/15(土)				
	医学部保健学科	1/6(月) ~1/10(金)				2/26(水)						
	工学部	1/16(木) ~1/23(木)				2/13(木)	2/19(水)	2/20(木) ~2/27(木)				
農学部	1/27(月) ~2/5(水)		2/25(火)			3/6(木)	3/7(金) ~3/15(土)					
繊維学部			2/21(金)									

# 目 次

◎ 学生募集要項・信州大学案内等の請求方法等	2
I 入学定員（募集人員）	4
II 一般入試	5
1 選抜試験実施方式・併願	5
2 出願資格	5
3 出願期間	5
4 入学者選抜方法	5
5 過去問題の使用	6
6 障害がある方の事前相談	6
7 個別の入学資格審査	7
8 注意事項	9
9 入学者選抜の実施教科・科目等	10
(1) 人文学部	10
(2) 教育学部	11
(3) 経済学部	15
(4) 理学部	16
(5) 医学部	18
(6) 工学部	19
(7) 農学部	20
(8) 繊維学部	21
III A〇入試	22
1 理学部 数理・自然情報科学科	22
2 理学部 地質科学科	23
3 農学部 森林科学科	24
IV 推薦入試	25
1 教育学部	26
2 経済学部	28
3 理学部	30
4 医学部	32
5 工学部	33
6 農学部	36
7 繊維学部	37
V 帰国子女入試（人文学部，理学部，工学部，農学部，繊維学部）	38
VI 中国引揚者等子女入試（工学部）	39
VII 社会人入試（教育学部，医学部，工学部）	40
VIII 私費外国人留学生入試	41
IX アドミッション・ポリシー	44
1 信州大学アドミッション・ポリシー	44
2 各学部のアドミッション・ポリシー	44
X 平成25年度オープンキャンパス開催一覧	50


◎ 学生募集要項・信州大学案内等の請求方法等

1 各要項等の発表予定


- (1) 信州大学案内 (2013-2014) ..... 配付中
- (2) 平成 26 年度学生募集要項 (一般入試) ..... 11 月上旬
- (3) 平成 26 年度学生募集要項 (AO入試) ..... 7 月上旬
- (4) 平成 26 年度学生募集要項 (推薦入試) ..... 次のとおり  
教育学部, 農学部 (7 月上旬), 理学部 (7 月中旬), 経済学部, 医学部医学科,  
医学部保健学科, 工学部 (7 月下旬), 繊維学部 (8 月下旬)
- (5) 平成 26 年度学生募集要項 (帰国子女・中国引揚者等子女・社会人入試) ..... 7 月下旬
- (6) 平成 26 年度学生募集要項 (私費外国人留学生入試) ..... 11 月上旬

2 請求方法

(1) 信州大学のホームページから請求する方法

信州大学のホームページから  テレメールを利用して募集要項等の資料請求ができます。  
詳しくは、信州大学ホームページ (<http://www.shinshu-u.ac.jp/>) の「入試情報」をご覧ください。

(2) インターネット (パソコン・スマートフォン・携帯電話) 又は自動音声応答電話による請求方法

① 下記のいずれかの方法で  テレメールにアクセスしてください。

インターネット (パソコン・スマートフォン・携帯電話)	<b>http://telemail.jp</b>	携帯電話でバーコードを読み取り、アクセスした場合は資料請求番号の入力は不要。 
自動音声応答電話	<b>電話 050-8601-0101 (24時間受付)</b>	

② 請求を希望する資料請求番号 (6 桁) をプッシュ又は入力してください。

資料名	資料請求番号	料金(送料含む)	発送開始	
信州大学案内	563542	290円	配付中	
入学者選抜要項	583542	180円		
信州大学案内 + 入学者選抜要項	563552	290円		
学生募集要項 (一般入試)	583552	290円	11 月上旬	
学生募集要項 (一般入試) + 信州大学案内	543552	340円		
学生募集要項 (私費外国人留学生入試)	549522	210円		
学生募集要項 (AO入試)	理学部	563532	7 月中旬	
	農学部	583532		
学生募集要項 (推薦入試)	教育学部	583572	7 月下旬	
	経済学部	583582		
	理学部	583592	7 月中旬	
	医学部医学科 (長野県内枠)	548882		
	医学部保健学科	543572		
	工学部	543582	7 月中旬	
	農学部	543592		
繊維学部	543542	180円	8 月下旬	
学部案内	人文学部	563562	7 月下旬	
	教育学部	563572	210円	配付中
	経済学部	563582	140円	7 月下旬
	理学部	563592	180円	7 月中旬
	医学部	583562	210円	配付中
	工学部	568352	290円	7 月中旬
	農学部	568362	180円	
繊維学部	568372	210円		

③ あとはガイダンスに従って登録してください。

(1) (2) に関する注意事項

- ※ 発送開始日以前に請求された資料は予約受付となり、発送開始日になりましたら一斉に発送されます。その際は、発送開始日の翌日から 3 日程で資料が届きます。
- ※ 発送開始日以降に請求された資料は請求してから 2~3 日程で届きます。ただし、受付日時や地域、配達事情によっては、4 日以上かかる場合もあります。なお、5 日以上経っても届かない場合は、テレメールカスタマーセンターへお問い合わせください。
- ※ 送料は、お届けする資料に同封されている支払方法に従い、表示料金をお支払いください。支払方法は「郵便局・ゆうちょ銀行での払込み」「コンビニ支払い」「携帯電話通話料金と一緒にのお支払い」がご利用になれます。なお、支払いに際して手数料が別途必要になります (手数料は支払方法によって異なります)。料金は資料の重量変更により変更になる場合がありますので、予めご了承ください。
- ※ 自動音声応答電話によるご請求の場合、住所・名前の登録時は、ゆっくりはっきりお話しください。登録された音声不鮮明な場合は、電話で住所・名前を確認することがありますので、電話番号は必ずご登録ください。

(3) 郵便局での請求方法（10月から案内開始）

10月から郵便局（簡易郵便局を除く。）に設置される「国公立大学・短期大学及び通信教育課程、大学校募集要項（願書）請求申込書」（郵便局用願書請求カタログ）に必要な事項を記入のうえ、送料と払込手数料120円を添えて、ゆうちょ銀行又は郵便局の貯金窓口でお申し込みください。受付から1週間程で資料が届きます。（発送開始日以前のお申し込みでは発送開始日の翌日から3日程で届きます。）郵便局用願書請求カタログは9月以降、高等学校で入手できる場合もあります。

資料名	送料
学生募集要項（一般入試）	290円

(1), (2), (3) の請求方法についてのお問い合わせは  
 テレメールカスタマーセンター 電話050-8601-0102（9:30～18:00）まで

※テレメールカスタマーセンターは、株式会社フロンページが管理運営しています。

(4) 信州大学へ直接請求する方法

返信用角形2号封筒（33cm×24cm）に請求者の郵便番号、住所、氏名を記載し、送料分の切手を貼り、別の請求用封筒に入れ、各学部入試事務室又は学務部入試課（「3 請求及び問い合わせ先」参照）あてに請求してください。その際、請求用封筒の裏にも請求者の住所、氏名、電話番号を記載してください。

「はがき」による請求には応じられません。また、送料の受取人払いの取扱いはできませんので、注意してください。

資料名	請求用封筒の表書き（封筒左側に朱書き）	送料（切手代）
入学者選抜要項	「選抜要項請求」	180円
信州大学案内	「信州大学案内請求」	290円
学生募集要項（一般入試）	「一般募集要項請求」	290円
入学者選抜要項+信州大学案内	「選抜要項・信州大学案内請求」	290円
学生募集要項（一般入試）+信州大学案内	「一般募集要項・信州大学案内請求」	340円
学生募集要項（私費外国人留学生入試）	「私費外国人留学生募集要項請求」	210円
※学生募集要項（AO入試）	「〇〇学部AO募集要項請求」	理学部 290円 農学部 210円
※学生募集要項（推薦入試）	「〇〇学部推薦募集要項請求」	教育学部 290円 経済学部 210円 理学部 290円 医学部医学科 290円 医学部保健学科 290円 工学部 290円 農学部 210円 繊維学部 290円
学生募集要項（帰国子女入試）	「帰国子女募集要項請求」	210円
学生募集要項（中国引揚者等子女入試）	「中国引揚者等子女募集要項請求」	
学生募集要項（社会人入試）	「社会人募集要項請求」	

※ AO入試及び推薦入試の募集要項については、各学部入試事務室あてに請求してください。  
 AO入試及び推薦入試の募集要項には、学部案内が同封されます。

(5) ダウンロードによる取得方法

「経済学部推薦入試学生募集要項」は、信州大学経済学部ホームページからダウンロードすることができます。  
<http://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/economics/>

3 請求及び問い合わせ先

（土曜日・日曜日、祝日及び休日は、取り扱いません。電話による問い合わせは、原則として志願者本人が行ってください。）

請求先	問い合わせ先（電話）	
人文学部 入試事務室	〒390-8621 松本市旭3-1-1	0263-37-3458
経済学部 入試事務室		0263-37-3312
理学部 入試事務室		0263-37-2439
医学部医学科入試事務室		0263-37-2580
医学部保健学科入試事務室		0263-37-2357
教育学部 入試事務室	〒380-8544 長野市西長野6の口	026-238-4044
工学部 入試事務室	〒380-8553 長野市若里4-17-1	026-269-5055
農学部 入試事務室	〒399-4598 上伊那郡南箕輪村8304	0265-77-1310
繊維学部 入試事務室	〒386-8567 上田市常田3-15-1	0268-21-5310
学務部 入試課	〒390-8621 松本市旭3-1-1	0263-37-3450

# I 入学定員(募集人員)

学部	学科・課程・系等		入学定員	募 集 人 員								
				一 般 入 試		AO入試	推薦入試Ⅰ (センター試験 を課さない)	推薦入試Ⅱ (センター試験 を課す)	帰国子女 入試	中国引揚 者等子女 入試	社会人 入試	私費外国 人留学生 入試
				前期日程	後期日程							
人文学部	人 文 学 科		155	135	20	—	—	—	若干	—	—	若干
	計		155	135	20	—	—	—	—	—	—	—
教育学部	学校教育 教員養成 課程	現 代 教 育 コ ー ス	220	20	4	—	10	—	—	—	—	若干
		国 語 教 育 コ ー ス		12	3	—	5	—	—	—	—	若干
		英 語 教 育 コ ー ス		7	3	—	6	—	—	—	—	若干
		社 会 科 教 育 コ ー ス		16	3	—	6	—	—	—	—	若干
		数 学 教 育 コ ー ス		18	3	—	4	—	—	—	—	若干
		理 科 教 育 コ ー ス		15	5	—	5	—	—	—	—	若干
		音 楽 教 育 コ ー ス		8	3	—	5	—	—	—	—	若干
		図画工作・美術教育コース		9	2	—	3	—	—	—	—	若干
		保 健 体 育 コ ー ス		9	3	—	3	—	—	—	—	若干
		ものづくり・技術教育コース		8	4	—	2	—	—	—	—	若干
	家 庭 科 教 育 コ ー ス	10	3	—	3	—	—	—	—	若干		
	小 計			132	36	—	52	—	—	—	—	—
	特別支援学校教員養成課程		20	10	5	—	5	—	—	—	—	若干
	生涯 学習 コース	地 域 ス ポ ー ツ コ ー ス	25	7	3	—	7	—	—	—	若干	若干
野 外 教 育 コ ー ス		3		2	—	3	—	—	—	若干	若干	
小 計		10		5	—	10	—	—	—	—	—	
教育カウンセリング課程		15	13	2	—	—	—	—	—	—	若干	
計			280	165	48	—	67	—	—	—	—	
経済学部	経 済 学 科		125	85	15	—	(3) 25	—	—	—	—	若干
	経 済 シ ス テ ム 法 学 科		60	40	10	—	10	—	—	—	—	若干
	計		185	125	25	—	(3) 35	—	—	—	—	—
理学部	数 理 ・ 自 然 情 報 科 学 科		55	25	27	3	—	—	若干	—	—	若干
	物 理 科 学 科		35	20	10	—	—	5	若干	—	—	若干
	化 学 科		35	15	15	—	5	—	若干	—	—	若干
	地 質 科 学 科		30	10	15	5	—	—	若干	—	—	若干
	生 物 科 学 科		30	15	15	—	—	—	若干	—	—	若干
	物 質 循 環 学 科		25	10	10	—	5	—	若干	—	—	若干
計		210	95	92	8	10	5	—	—	—	—	
医学部	医 学 科		120	55	45	—	—	20	—	—	—	若干
	保健 学科	看 護 学 専 攻	70	50	10	—	10	—	—	—	—	若干
		検 査 技 術 科 学 専 攻	37	23	9	—	5	—	—	—	—	若干
		理 学 療 法 学 専 攻	18	15	3	—	—	—	—	—	若干	若干
		作 業 療 法 学 専 攻	18	15	3	—	—	—	—	—	若干	若干
小 計		143	103	25	—	15	—	—	—	—	—	
計		263	158	70	—	15	20	—	—	—	—	
工学部	機 械 シ ス テ ム 工 学 科		80	55	—	—	(2) 10	15	若干	若干	若干	若干
	電 気 電 子 工 学 科		95	65	—	—	(4) 15	15	若干	若干	若干	若干
	土 木 工 学 科		45	32	—	—	(1) 8	5	若干	若干	若干	若干
	建 築 学 科		50	38	11	—	(1) 1	—	若干	若干	若干	若干
	物 質 工 学 科		60	38	—	—	(2) 12	10	若干	若干	若干	若干
	情 報 工 学 科		90	30	20	—	(5) 30	10	若干	若干	若干	若干
	環 境 機 能 工 学 科		50	30	10	—	(1) 1	(2) 9	若干	若干	若干	若干
計		470	288	41	—	(16) 77	(2) 64	—	—	—	—	
農学部	食 料 生 産 科 学 科		62	40	10	—	12	—	若干	—	—	若干
	森 林 科 学 科		61	29	12	8	12	—	—	—	—	若干
	応 用 生 命 科 学 科		52	25	15	—	12	—	若干	—	—	若干
	計		175	94	37	8	36	—	—	—	—	—
繊維学部	繊維・感 性工学系	先 進 繊 維 工 学 課 程	30	10	10	—	(1) 10	—	若干	—	—	若干
		感 性 工 学 課 程	30	10	10	—	(1) 10	—	若干	—	—	若干
		小 計	60	20	20	—	(2) 20	—	—	—	—	—
	機械・ロ ボット学系	機 能 機 械 学 課 程	30	25	20	—	10	—	若干	—	—	若干
		バ イ オ エ ン ジ ニ ア リ ン グ 課 程	25									
	小 計		55									
	化学・ 材料系	応 用 化 学 課 程	37	60	32	—	(1) 18	—	若干	—	—	若干
		材 料 化 学 工 学 課 程	37									
		機 能 高 分 子 学 課 程	36									
	小 計		110									
応用生物 科学系	生 物 機 能 科 学 課 程	25	20	20	—	10	—	若干	—	—	若干	
	生 物 資 源 ・ 環 境 科 学 課 程	25										
	小 計	50										
計		275	125	92	—	(3) 58	—	—	—	—	—	
合 計		2,013	1,185	425	16	(22) 298	(2) 89	—	—	—	—	

注1. 推薦入試Ⅰの( )内は、高等学校の職業教育を主とする学科(経済学部経済学科については商業に関する学科又は総合学科(商業科目20単位以上)、繊維学部化学・材料系については工業に関する学科)対象の募集人員を内数で示したものです。

注2. 工学部推薦入試Ⅱの( )内は、スーパーサイエンスハイスクール(SSH)等の指定を受けている高等学校(都道府県が指定するSSHに準ずる高等学校を含む。)対象の募集人員を内数で示したものです。

注3. AO入試の合格者が募集人員に満たない場合は、その不足した人員を、理学部は後期日程の募集人員に、農学部は前期日程の募集人員に、それぞれ加えます。

注4. 推薦入試の合格者が募集人員に満たない場合は、その不足した人員を前期日程の募集人員に加えます。

## Ⅱ 一般入試

### 1 選抜試験実施方式・併願

本学は、学部・学科等の入学定員を分割し、「前期日程」及び「後期日程」によりそれぞれ入学者を募集する「分離分割方式」で入学者選抜を実施します。

国公立大学への志願者は、「前期日程」で募集する大学・学部から一つ、「後期日程」で募集する大学・学部から一つ、合計二つの大学・学部に出願することができます。

したがって、「前期日程」と「後期日程」の併願はできますが、「前期日程」と「前期日程」、「後期日程」と「後期日程」のそれぞれの併願はできませんので注意してください。

また、本学の学内併願についても、「前期日程」で募集する学部・学科等から一つ、「後期日程」で募集する学部・学科等から一つ、合計二つの学部又は同一学部の二つの学科等に出願することができます。

なお、併願の場合は、それぞれに出願書類を提出し、入学検定料を納めなければなりません。

### 2 出願資格

次の各号のいずれかに該当し、かつ、志望する学部・学科等が指定する平成 26 年度大学入試センター試験の教科・科目を受験した方とします。(10～21 ページ参照)

- (1) 高等学校（中等教育学校及び特別支援学校高等部を含みます。以下「Ⅱ一般入試」の項において単に「高等学校」といいます。）を卒業した方又は平成 26 年 3 月卒業見込みの方
- (2) 通常の課程による 12 年の学校教育を修了した方又は平成 26 年 3 月修了見込みの方
- (3) 学校教育法施行規則（昭和 22 年文部省令第 11 号）第 150 条第 1 号から第 5 号までの規定により高等学校卒業者と同等以上の学力があると認められる方又は平成 26 年 3 月 31 日までにこれに該当する見込みの方
- (4) 学校教育法施行規則（昭和 22 年文部省令第 11 号）第 150 条第 7 号の規定により、本学において、個別の入学資格審査により高等学校卒業者と同等以上の学力があると認められる方又は平成 26 年 3 月 31 日までにこれに該当する見込みの方で、平成 26 年 3 月 31 日までに 18 歳に達する方（次の（注）をご覧ください。）

（注）上記(4)により出願しようとする方は、個別の入学資格審査を行う必要がありますので、「7 個別の入学資格審査（7～9 ページ）」の実施要項に従って申請してください。また、大学入試センター試験に出願する際には、いずれかの大学の認定を受けたことを証明する書類が必要になります。

### 3 出願期間

前期日程・後期日程とも、平成 26 年 1 月 27 日(月)～平成 26 年 2 月 5 日(水)とします。

### 4 入学者選抜方法

- (1) 入学者の選抜は、大学入試センター試験の成績、本学が実施する個別学力検査等の成績及び調査書の内容（医学部医学科については志願調書の内容を加える。）を総合して行います。ただし、経済学部及び理学部物理科学科の後期日程においては、個別学力検査等を課しません。
- (2) 第 2, 第 3 志望を認める学部は、次のとおりです。
  - ① 教育学部前期日程においては、第 1 志望の課程・コースと同一の試験科目を課す課程・コースを第 2 志望とすることができます。

また、第 1 志望の課程・コースの受験科目とは別に、その他の科目を受験して、その科目を課す課程・コースを第 2 志望とすることもできます。

- ② 工学部建築学科、情報工学科及び環境機能工学科の後期日程においては、工学部の後期日程で募集する他学科を第2、第3志望とすることができます。ただし、大学入試センター試験で志望学科が指定する科目を受験している必要があります。
- ③ 繊維学部前期日程及び後期日程においては、繊維・感性工学系の各課程及び機械・ロボット工学系、化学・材料系、応用生物科学系を第2志望とすることができます。

## 2段階選抜

医学部医学科の後期日程では、綿密な選抜を実施するため、志願者数が募集人員の20倍を超えた場合には、大学入試センター試験の成績、調査書の内容及び志願調書の内容を総合して第1段階選抜を行い、その合格者について、個別学力検査及び必要により面接を実施します。

## 5 過去問題の使用

- (1) 本学及び各学部の「アドミッション・ポリシー」に沿った選抜を実現するため、必要な範囲で「入試過去問題活用宣言」に参加している大学の入試過去問題を使用して出題することがあります。
- (2) 入試過去問題を使用して出題する際は、そのまま使用することもありますし、一部を改変することもあります。
- (3) 「入試過去問題活用宣言」の詳細及び参加大学の一覧は、次のURLをご覧ください。  
<http://www.nyushikakomon.jp/>

## 6 障害がある方の事前相談

本学に入学を志願する方で、障害（別表参照）があり受験上及び修学上特別な配慮を必要とする方は、出願の前に、下記事項を記載した書面（様式は問いません。）を提出してください。  
なお、重度の障害がある方は、できる限り早い時期に相談してください。

（注）日常生活においてごく普通に使用されている補聴器、松葉杖、車椅子等を使用して受験する場合も、試験場設定等において何らかの措置が必要となる場合がありますので、事前に相談してください。

事前相談は障害がある志願者に本学の現状をあらかじめ知っていただき、受験及び修学にあたってより良い方法やあり方を実現するためのもので、障害がある方の受験や修学を制限するものではありません。

- (1) 提出期限 平成26年1月24日（金）まで（一般入試。他の入試については、それぞれの募集要項をご覧ください。）
- (2) 書面に記載する内容
  - ① 志願者の氏名、住所、電話番号
  - ② 出身学校名
  - ③ 志願学部、学科等（第2、第3志望がある場合、それも記載してください。）
  - ④ 出願を希望する入試（前期日程・後期日程の別）
  - ⑤ 障害の種類・程度（現に治療中の方は、医師の診断書を添付してください。）
  - ⑥ 受験上特別な配慮を希望する事項（大学入試センターから「受験特別措置決定通知書」の交付を受けた方は、複写（コピー）したものを添付してください。）
  - ⑦ 修学上特別な配慮を希望する事項
  - ⑧ 出身学校でとられていた修学上特別な配慮
  - ⑨ 日常生活の状況



(3) 提出先

信州大学学務部入試課 〒390-8621 松本市旭 3-1-1 電話 0263-37-2192

(4) 提出期限後の不慮の事故等による場合の特別な配慮

提出期限後に不慮の事故等により障害を有することとなった場合は、その際にご相談ください。

(別表)

区分	障害の程度
視覚障害者	両眼の視力がおおむね 0.3 未満のもの又は視力以外の視機能障害が高度のものうち、拡大鏡等の使用によっても通常の文字、図形等の視覚による認識が不可能又は著しく困難な程度のもの
聴覚障害者	両耳の聴力レベルがおおむね 60 デシベル以上のものうち、補聴器等の使用によっても通常の話声を解することが不可能又は著しく困難な程度のもの
肢体不自由者	1. 肢体不自由の状態が補装具の使用によっても歩行、筆記等日常生活における基本的な動作が不可能又は困難な程度のもの 2. 肢体不自由の状態が前号に掲げる程度に達しないものうち、常時の医学的観察指導を必要とする程度のもの
病弱者	1. 慢性の呼吸器疾患、腎臓疾患及び神経疾患、悪性新生物その他の疾患の状態が継続して医療又は生活規制を必要とする程度のもの 2. 身体虚弱の状態が継続して生活規制を必要とする程度のもの
その他	上記以外で、受験上及び修学上特別な配慮を必要とする程度のもの

(参考：学校教育法施行令第 22 条の 3、発達障害者支援法第 2 条)

## 7 個別の入学資格審査

「2 出願資格 (注)」により本学に入学資格の認定を希望される方は、次ページの「平成 26 年度信州大学入学者選抜 (一般入試) 入学資格審査実施要項」に基づき、入学資格審査の申請をしてください。

※ 別紙様式 1 及び 2 については、本学ホームページ (<http://www.shinshu-u.ac.jp/admission/>) の「入試情報/入試に関するお知らせ」からダウンロードするか、次ページの申請先 (信州大学学務部入試課) に請求してください。

また、提出書類の表記が日本語以外の場合は、必ず日本語訳を添付してください。

## 平成 26 年度信州大学入学者選抜（一般入試）入学資格審査実施要項

信州大学の平成 26 年度入学者選抜（一般入試）に際して、学校教育法施行規則第 150 条第 7 号の規定に基づき出願する方については、事前に本学において個別の入学資格審査を受け、入学資格を認められた場合に限り出願ができます。

入学資格審査等は、入学試験委員会が下記により実施します。

なお、平成 25 年 1 月 24 日以前に既に信州大学に入学資格審査を申請し、入学資格を認められた方は、改めて申請する必要はありません。

### 記

#### 1 申請期間及び申請先等

信州大学の個別の入学資格審査により入学資格の認定を受けようとする方は、平成 25 年 7 月 1 日（月）から平成 25 年 8 月 23 日（金）（17 時まで）に必着）までに申請してください。

ただし、平成 26 年度大学入試センター試験受験後に本学への出願を希望する方は、平成 26 年 1 月 21 日（火）（17 時まで）に必着）までに申請してください。

申請書類を郵送する場合は、必ず書留郵便とし、封筒表面に「大学入学資格認定書交付申請」と朱書きしてください。

**申請先** 〒390-8621 松本市旭 3-1-1 信州大学学務部入試課（電話 0263-37-2192）

#### 2 入学資格審査の対象者

(1) 高等学校段階を有する外国人学校のうち、修業年限が 12 年の外国人学校を卒業した方又は卒業見込みの方で、平成 26 年 3 月 31 日までに 18 歳に達する方

(2) (1) 以外の方であって、専修学校、各種学校等における学習歴及び社会における実務経験等が、高等学校卒業と同等以上であることを客観的に確認できる方で、平成 26 年 3 月 31 日までに 18 歳に達する方

#### 3 申請手続

次の書類を取り揃え申請してください。

##### (1) 本要項の 2 (1) に該当する方

① 入学資格審査申請書（別紙様式 1）

② 学習等の履歴書（別紙様式 2）

③ 当該外国人学校の卒業証明書又は卒業見込証明書

④ 当該外国人学校について、次の事項が記載された書類

ア 修業年限及び学年・学期に関する事項

イ 課程の組織に関する事項

ウ 教育課程及び授業時数に関する事項

エ 学習の評価及び教育課程修了の認定に関する事項

オ 入学及び卒業に関する事項

⑤ 返信用封筒（長形 3 号封筒（23.5 cm×12 cm）に申請者のあて先を明記し、書留速達料金分（770 円）の切手を貼りつけたもの）

⑥ 入学資格認定書の写（平成 25 年度以前に本学以外の大学で入学資格認定書の交付を受けている場合）

##### (2) 本要項の 2 (2) に該当する方

① 入学資格審査申請書（別紙様式 1）

② 学習等の履歴書（別紙様式 2）

③ 専修学校、各種学校等の卒業（修了）又は卒業（修了）見込み証明書

④ 専修学校、各種学校等について、次の事項が記載された書類

ア 修業年限、修業期間及び学年・学期に関する事項

イ 課程の組織に関する事項

ウ 教育課程及び授業時数に関する事項

エ 学習の評価及び教育課程修了の認定に関する事項

オ 入学及び卒業（修了）に関する事項

⑤ その他高等学校卒業と同等以上であることを客観的に確認できる書類

⑥ 返信用封筒（長形 3 号封筒（23.5 cm×12 cm）に申請者のあて先を明記し、書留速達料金分（770 円）の切手を貼りつけたもの）

⑦ 入学資格認定書の写（平成 25 年度以前に本学以外の大学で入学資格認定書の交付を受けている場合）

#### 4 入学資格審査の方法及び審査期間

入学資格審査は、申請書類に基づき、原則として下記により行います。

(1)	平成 25 年 7 月 1 日 (月) から平成 25 年 8 月 23 日 (金) までに申請した方	平成 25 年 8 月 30 日 (金) までに審査します。
(2)	大学入試センター試験受験後から平成 26 年 1 月 21 日 (火) までに申請した方	平成 26 年 1 月 23 日 (木) までに審査します。

#### 5 入学資格審査基準

##### (1) 本要項の 2 (1) の申請者

申請者の当該学校の教育内容等が、高等学校学習指導要領に準じているかを精査し、高等学校と同等以上であるかを審査します。

また、当該学校の年間及び週当たりの授業時間数、履修する主要教科・科目及び卒業までに必要な単位数が、高等学校学習指導要領に定める標準授業時数、すべての生徒に履修させる各教科・科目及び卒業までに修得させる単位数と同等以上であるかを審査します。

##### (2) 本要項の 2 (2) の申請者

申請者の学習歴及び社会での実務経験等について精査し、高等学校卒業と同等以上の学力があるかを審査します。

#### 6 入学資格審査の結果

入学資格審査の結果は、本要項の 4 (1) に該当する場合は平成 25 年 9 月 4 日 (水) までに、4 (2) に該当する場合は平成 26 年 1 月 27 日 (月) までに、申請者あてに郵送により通知します。入学資格を認められた方には、「信州大学入学資格認定書」を同封します。

#### 7 入学資格認定の取消し

申請者が本要項の 2 (1) に定める外国人学校の卒業見込み又は 2 (2) に定める専修学校、各種学校等の卒業 (修了) 見込みにより申請した場合であって、その要件が満たされないときは、入学資格認定を取り消します。

#### 8 信州大学入学者選抜試験の受験について

「信州大学入学資格認定書」の交付を受けた方は、信州大学の入学者選抜試験に出願し、選抜試験を受験することができます。

出願の際は、必ず「信州大学入学資格認定書 (写)」を添付してください。

## 8 注意事項

### (1) 受験票

大学入試センターから送付される「平成 26 年度大学入試センター試験受験票」は、紛失したり汚損したりすることのないよう大切に保管し、本学の個別学力検査等の試験当日に、本学の発行した受験票と一緒に必ず持参してください。

また、本学の発行した受験票は、入学手続や入試情報開示請求の際に必要となりますので、同様に大切に保管してください。

### (2) 成績請求票

① 大学入試センターから送付される成績請求票は、本学の個別学力検査等の試験に出願する際に、他の出願書類と共に提出しなければなりません。したがって、個別学力検査等の試験の出願時まで、紛失したり汚損したりすることのないよう大切に保管してください。

② 本学への出願時には、志願する学部の日程区分に従い、「前期日程用」又は「後期日程用」を使用してください。

### (3) 写真

本学への出願には、平成 26 年度大学入試センター試験の受験票に使用したものと同一写真 (縦 4cm×横 3cm) を用意することが望まれますが、ネガの紛失等やむを得ない場合は、出願前 3 か月以内に撮影したものを使用してください。なお、写真用紙以外の紙に印刷された写真は使用できませんので、ご注意ください。

## 9 入学者選抜の実施教科・科目等

### (1) 人文学部

【前期日程】選抜期日2月25日(火)、合格発表日3月6日(木) 【後期日程】選抜期日3月12日(水)、合格発表日3月20日(木)

日程	学科等名 (募集人員)	大学入試センター試験の 利用教科・科目名		個別学力検査等		大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等													
		教科	科目名等	教科等	科目名等	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	総合問題	実技	面接	小論文	配点計		
前期日程	人文学科 (135人)	国	国 数Ⅰ、数Ⅰ・数Aから1と 数Ⅱ、数Ⅱ・数B、工、簿、情報から1 } から1 世B、日B、地理B } 教科 現社、倫、政経、倫・政経 } ※3 } 1教科 理総A、理総B、物、化、生、地学から1 } ※4 } ※2※5	その他	総合問題	センター試験	*200	*100	*100	*200	*100	200						500	
		地歴 公民 理												300					300
		外		英、独、仏、中、韓から1 〔3教科3科目〕又は〔3教科4科目〕											300				
後期日程	人文学科 (20人)	国	国 世B、日B、地理B } から2 現社、倫、政経、倫・政経 } ※6 数Ⅰ、数Ⅰ・数Aから1 数Ⅱ、数Ⅱ・数B、工、簿、情報 } から2 理総A、理総B、物、化、生、地学 } ※7※8 英、独、仏、中、韓から1 〔5教科7科目〕又は〔6教科7科目〕	その他	小論文	センター試験	100	100	50	*100	100							450	
		地歴 公民 数														200		200	
		理 外															200		650

#### 【大学入試センター試験の利用教科・科目名】欄

「工業数理基礎」、「簿記・会計」及び「情報関係基礎」を選択できる方は、職業教育を主とする学科、総合学科をもつ高等学校においてこれらの科目を履修した方（大学入学資格検定でこれらに相当する科目に合格している方を含みます。）及び専修学校の高等課程の修了（見込み）者に限ります。

「英語」は、リスニングを課します。筆記（200点満点）とリスニング（50点満点）の合計得点を200点満点に換算し、「外国語」の他の科目を受験した方と比較できるようにして利用します。ただし、重度難聴者でリスニングを免除された方については、筆記（200点満点）の得点をそのまま利用します。

- ※1 「国語」及び「数学」の2教科を受験した方については、いずれか得点の高い教科の成績を利用します。
- ※2 『「地理歴史」又は「公民」』及び「理科」の2教科を受験した方については、いずれか得点の高い教科の成績を利用します。
- ※3 「地理歴史」及び「公民」から2科目受験した方については、第2解答科目の成績は利用しません。
- ※4 「理科」を2科目受験した方については、第2解答科目の成績は利用しません。
- ※5 「地理歴史」、「公民」から2科目と「理科」から2科目受験した方については、「地理歴史」、「公民」の第1解答科目、「理科」の第1解答科目のうち、得点の高い科目の成績を利用します。
- ※6 「公民」においては、同一名称を含む科目の組合せで2科目を選択することはできません。
- ※7 「理科」から1科目以上選択してください。
- ※8 「数Ⅱ、数Ⅱ・数B、工、簿、情報」から1科目及び「理科」から2科目の計3科目受験した方については、『「数Ⅱ、数Ⅱ・数B、工、簿、情報」と「理科」の第1解答科目』及び『「理科」の2科目』のうち、いずれか得点の高い組合せの成績を利用します。

#### 【大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等】欄

配点に \*印を付してある教科は選択教科を表します。



日程	学科等名 (募集人員)	大学入試センター試験の 利用教科・科目名		個別学力検査等		大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等														
		教科 等	科目名等	教科 等	科目名等	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	総合 問題	実技	面接	小論文	配点 合計			
前期 日程	特別支援学校 教員養成課程 (10人)	国 地歴 公民 数	国 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B }から1 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } ※1 数I・数A 数II, 数II・数B, 工, 簿, 情報から1 理総A, 理総B, 物, 化, 生, 地学から1 ※2 英, 独, 仏, 中, 韓から1 〔5教科6科目〕	国	国語総合・国語表現I・国語表現II・ 現代文・古典 }から1 数I・数II・数III・数A・数B・数C ※7 英 ※6	センター試験	200	*100	*100	200	100	200						800		
						個別学力検査	*300				*300									300
						計	200 *500	*100	*100	200 *500	100	200 *500								1,100
	生涯ス ポーツ コース (7人)	理 外	理総A, 理総B, 物, 化, 生, 地学から1 ※2 英, 独, 仏, 中, 韓から1 〔5教科6科目〕	その他	実技検査 (詳細については14ページを参照)	センター試験	200	*100	*100	200	100	200						800		
						個別学力検査									300			300		
						計	200	*100	*100	200	100	200			300			1,100		
	野 外 教 育 コ ー ス (3人)	理 外	理総A, 理総B, 物, 化, 生, 地学から1 ※2 英, 独, 仏, 中, 韓から1 〔5教科6科目〕	その他	実技検査 (詳細については14ページを参照)	センター試験	200	*100	*100	200	100	200						800		
						個別学力検査									300			300		
						計	200	*100	*100	200	100	200			300			1,100		
	教 育 カ ウ ン セ リ ン グ 課 程 (13人)	国 地歴 公民 数	国 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B }から1 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } ※1 数I・数A 数II, 数II・数B, 工, 簿, 情報から1 理総A, 理総B, 物, 化, 生, 地学から1 ※2 英, 独, 仏, 中, 韓から1 〔5教科6科目〕	国	国語総合・国語表現I・国語表現II ・現代文・古典 }から1 数I・数II・数III・数A・数B・数C ※7 英 ※6	センター試験	200	*100	*100	200	100	200						800		
						個別学力検査	*300				*300								300	
						計	200 *500	*100	*100	200 *500	100	200 *500							1,100	
後 期 日 程	学 校 教 育 教 員 養 成 課 程	現 代 教 育 コ ー ス (4人)	国 地歴 公民 数	国 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B }から1 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } ※1 数I・数A 数II, 数II・数B, 工, 簿, 情報から1 理総A, 理総B, 物, 化, 生, 地学から1 ※2 英, 独, 仏, 中, 韓から1 〔5教科6科目〕	その他	面接	センター試験	150	*100	*100	150	100	150					650		
							個別学力検査										250		250	
							計	150	*100	*100	150	100	150				250		900	
		国 語 教 育 コ ー ス (3人)	国 地歴 公民 外	国 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B }から1 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } ※1 英, 独, 仏, 中, 韓から1 〔3教科3科目〕	その他	面接	センター試験	300	*100	*100			200						600	
							個別学力検査									300		300		
							計	300	*100	*100			200			300		900		
		英 語 教 育 コ ー ス (3人)	国 地歴 公民 外	国 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B }から1 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } ※1 英, 独, 仏, 中, 韓から1 〔3教科3科目〕	その他	面接	センター試験	300	*150	*150			300						750	
							個別学力検査									150		150		
							計	300	*150	*150			300			150		900		
		社 会 科 教 育 コ ー ス (3人)	国 地歴 公民 数	国 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B }から1 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } ※1 数I・数A 数II, 数II・数B, 工, 簿, 情報から1 理総A, 理総B, 物, 化, 生, 地学から1 ※2 英, 独, 仏, 中, 韓から1 〔5教科6科目〕	その他	面接	センター試験	150	*150	*150	100	50	150						600	
							個別学力検査										300		300	
							計	150	*150	*150	100	50	150				300		900	
		数 学 教 育 コ ー ス (3人)	国 地歴 公民 数	国 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B }から1 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } ※1 数I・数A 数II, 数II・数B, 工, 簿, 情報から1 理総A, 理総B, 物, 化, 生, 地学から1 ※2 英, 独, 仏, 中, 韓から1 〔5教科6科目〕	その他	面接	センター試験	120	*70	*70	170	120	120						600	
							個別学力検査										300		300	
							計	120	*70	*70	170	120	120				300		900	
		理 科 教 育 コ ー ス (5人)	理 外	理総A, 理総B, 物, 化, 生, 地学から2 英, 独, 仏, 中, 韓から1 〔5教科7科目〕	その他	面接	センター試験	50	*50	*50	200	200	100						600	
							個別学力検査										300		300	
							計	50	*50	*50	200	200	100				300		900	
音 楽 教 育 コ ー ス (3人)	国 地歴 公民 数	国 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B }から1 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } ※1 数I・数A 数II, 数II・数B, 工, 簿, 情報から1 ※3 理総A, 理総B, 物, 化, 生, 地学から1 ※2 英, 独, 仏, 中, 韓から1 〔3教科3科目〕又は〔3教科4科目〕	その他	実技検査 (詳細については14ページを参照)	センター試験	200	*200	*200	*200	*200	200						600			
					個別学力検査										300		300			
					計	200	*200	*200	*200	*200	200				300		900			
図 画 工 作 ・ 美 術 教 育 コ ー ス (2人)	国 地歴 公民 数	国 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B }から1 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } ※1 数I・数A 数II, 数II・数B, 工, 簿, 情報から1 ※3 理総A, 理総B, 物, 化, 生, 地学から1 ※2 英, 独, 仏, 中, 韓から1 〔4教科4科目〕又は〔4教科5科目〕	その他	面接	センター試験	200	*100	*100	*100	*100	200						600			
					個別学力検査										300		300			
					計	200	*100	*100	*100	*100	200				300		900			

日程	学科等名 (募集人員)		大学入試センター試験の 利用教科・科目名		個別学力検査等		大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等														
			教科	科目名等	教科等	科目名等	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	総合問題	実技	面接	小論文	配点計			
後 期 日 程	学校 教 育 教 員 養 成 課 程	保健体育 コース (3人)	国	国 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B }から1 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } ※1 }から 数Ⅰ・数A } ※4 数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 工, 簿, 情報から1 ※3 理総A, 理総B, 物, 化, 生, 地学から1 ※2 英, 独, 仏, 中, 韓から1 〔3教科3科目〕又は〔3教科4科目〕	その他	実技検査 (詳細については14ページを参照)	センター試験	200	*200	*200	*200	*200	200						600		
			地歴 公民 数		個別学力検査												300				300
			理 外		計		200	*200	*200	*200	*200	200					300				900
	養成 課 程	ものづくり・ 技術教育 コース (4人)	国	国 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B }から1 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } ※1 数Ⅰ・数A 数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 工, 簿, 情報から1 理総A, 理総B, 物, 化, 生, 地学から1 ※2 英, 独, 仏, 中, 韓から1 〔5教科6科目〕	その他	面接	センター試験	120	*80	*80	160	120	120						600		
			地歴 公民 数		個別学力検査											300			300		
			理 外		計		120	*80	*80	160	120	120					300			900	
	特別 支 援 学 校 教 員 養 成 課 程	家庭科教育 コース (3人)	国	国 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B }から1 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } ※1 数Ⅰ・数A 数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 工, 簿, 情報から1 理総A, 理総B, 物, 化, 生, 地学から1 ※2 英, 独, 仏, 中, 韓から1 〔5教科6科目〕	その他	面接	センター試験	150	*75	*75	150	75	150						600		
			地歴 公民 数		個別学力検査											300			300		
			理 外		計		150	*75	*75	150	75	150					300			900	
	生涯 ス ポ ー ツ 課 程	地域スポ ーツ コース (3人)	国	国 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B }から1 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } ※1 }から 数Ⅰ・数A } ※4 数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 工, 簿, 情報から1 ※3 理総A, 理総B, 物, 化, 生, 地学から1 ※2 英, 独, 仏, 中, 韓から1 〔3教科3科目〕又は〔3教科4科目〕	その他	実技検査 (詳細については14ページを参照)	センター試験	200	*200	*200	*200	*200	200						600		
			地歴 公民 数		個別学力検査											300			300		
			理 外		計		200	*200	*200	*200	*200	200					300			900	
教育 カ ウ ン セ リ ン グ 課 程	教育カウ ンセリ ング 課程 (2人)	国	国 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B }から1 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } ※1 数Ⅰ・数A 数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 工, 簿, 情報から1 理総A, 理総B, 物, 化, 生, 地学から1 ※2 英, 独, 仏, 中, 韓から1 〔5教科6科目〕	その他	面接	センター試験	150	*75	*75	150	75	150						600			
		地歴 公民 数		個別学力検査											300			300			
		理 外		計		150	*75	*75	150	75	150					300			900		

【大学入試センター試験の利用教科・科目名】欄

「工業数理基礎」、「簿記・会計」及び「情報関係基礎」を選択できる方は、職業教育を主とする学科、総合学科をもつ高等学校においてこれらの科目を履修した方（大学入学資格検定でこれらに相当する科目に合格している方を含みます。）及び専修学校の高等課程の修了（見込み）者に限ります。

「英語」は、リスニングを課します。筆記（200点満点）とリスニング（50点満点）の合計得点を200点満点に換算し、「外国語」の他の科目を受験した方と比較できるようにして利用します。ただし、重度難聴者でリスニングを免除された方については、筆記（200点満点）の得点をそのまま利用します。

- ※1 「地理歴史」及び「公民」から2科目受験した方については、第1解答科目の成績を利用します。
- ※2 「理科」を2科目受験した方については、第1解答科目の成績を利用します。
- ※3 「数学」を選択する場合は、2科目受験してください。
- ※4 2教科以上受験した方については、最も得点の高い教科の成績を利用します。
- ※5 3教科受験した方については、得点の高い2教科の成績を利用します。

【個別学力検査等】欄

- ※6 英語は「オーラル・コミュニケーションⅠ」及び「英語Ⅰ」に加えて、「オーラル・コミュニケーションⅡ」と「英語Ⅱ」に共通する事項を含むものとします。ただし、リスニングテストは課しません。
- ※7 数学Bは「数列」及び「ベクトル」を、数学Cは「行列とその応用」及び「式と曲線」を範囲とします。
- ※8 物理Ⅱは「物質と原子」及び「原子と原子核」の範囲を除きます。
- ※9 化学Ⅱは「生活と物質」及び「生命と物質」の範囲を除きます。
- ※10 生物Ⅱの選択分野「生物の分類と進化」及び「生物の集団」について出題する場合は、いずれか一方を選択解答することとします。
- ※11 地学Ⅱは、選択分野「地球の探究」、「地球表層の探究」及び「宇宙の探究」のうち「宇宙の探究」を出題範囲から除きます。「地球の探究」及び「地球表層の探究」について出題する場合は、いずれか一方を選択解答することとします。
- ※12 数学Bは「数列」及び「ベクトル」を範囲とします。

【大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等】欄

配点に \*印を付してある教科は選択教科を表します。

## 《実技検査内容（教育学部）》

### 音楽教育コース志望者

#### ○ 前期日程

##### (1) 受験方法

- ① 次の「(2) 検査内容」に示された〔必須〕①, ②, ③の検査すべてを受験し、また、〔選択〕④, ⑤, ⑥のうちの一つを選択して受験してください
- ② 受験曲は反復を省略し、暗譜で演奏してください。なお、声楽曲は原語で、オペラのアリアは原調（ただし、慣習的に移調が認められている場合を除く。）で歌ってください。
- ③ 受験曲の曲目及び調性は、出願書類と共に提出してください。
- ④ 声楽の伴奏用楽譜は、出願書類と共に提出してください。提出後の楽譜の差し替えはできません。なお、提出された楽譜は返却しません。
- ⑤ 管・弦・打楽器は携帯可能な楽器とし、各自持参してください。

##### (2) 検査内容

###### 〔必須〕

- ① 聴音：単旋律聴音を1課題（8～12小節）
- ② 声楽：次の歌曲の中から任意の1曲
  - a. G.B.Pergolesi 作曲 Se tu m'ami
  - b. J.Brahms 作曲 Wiegenlied（第2節まで）
  - c. 北原白秋 作詞、山田耕作 作曲 かやの木山の
- ③ ピアノ：次のaまたはbを選択してください。
  - a. J.S.Bach 作曲「インヴェンション」、「シンフォニア」、「平均律クラヴィーア曲集Ⅰ・Ⅱ」（フーガのみは可、プレリュードのみは不可）の中から任意の1曲
  - b. ツェルニー作曲「40番練習曲集 op.299」、「50番練習曲集 op.740」、ショパン作曲「練習曲集 op.10, op.25」の中から任意の1曲

###### 〔選択〕

- ④ 声楽：イタリア歌曲、ドイツ歌曲、日本歌曲、オペラ・アリアの中から任意の1曲
- ⑤ ピアノ：ハイドン、モーツァルト、ベートーヴェンのピアノ・ソナタの中から、速度の速い任意の楽章
- ⑥ 管・弦・打楽器（和楽器を含む。）：無伴奏のエチュード又は無伴奏の楽曲

#### ○ 後期日程

##### (1) 受験方法

- ① 次の「(2) 検査内容」に示された①, ②の検査すべてを受験してください。
- ② 受験曲は反復を省略し、暗譜で演奏してください。なお、声楽曲は原語で歌ってください。
- ③ 受験曲の曲目及び調性は、出願書類と共に提出してください。
- ④ 声楽の伴奏用楽譜は、出願書類と共に提出してください。提出後の楽譜の差し替えはできません。なお、提出された楽譜は返却しません。

##### (2) 検査内容

- ① 声楽：自由曲1曲。ただし、オペラのアリアは原調（慣習的に移調が認められている場合を除く。）で歌ってください。
- ② ピアノ：バロック、古典派、ロマン派のピアノ作品の中から、速度の速い任意の1曲（組曲形式の楽曲については抜粋も可とします。）

### 図画工作・美術教育コース志望者

#### ○ 前期日程

次の①, ②, ③のうちから一つを選択して受験してください。

- ① 石膏デッサン：鉛筆により石膏像をデッサンする。
- ② 色彩構成：ケントボードの枠内に与えられたテーマでポスターカラーにより色彩構成する。
- ③ 立体造形：粘土により立体表現する。

### 保健体育コース・地域スポーツコース・野外教育コース志望者

#### ○ 前期日程

次のA群・B群から各1種（合計2種目）を選択して実技検査を受験してください。

- A群= 1. 器械運動 2. 陸上競技 3. 剣道 4. ダンス  
B群= 1. バスケットボール 2. サッカー 3. バレーボール 4. ソフトボール

#### ○ 後期日程

次の①, ②の実技検査を受験してください。

- ① 運動能力検査（内容は当日指示）
- ② 以下の9種目から1種目を選択
  1. 器械運動 2. 陸上競技 3. バスケットボール 4. サッカー 5. バレーボール 6. ソフトボール 7. 剣道 8. ダンス 9. キャンピング・スキル



(3) 経済学部

【前期日程】選抜期日 2月25日(火)、合格発表日 3月6日(木) 【後期日程】選抜期日 個別学力検査等は課さない、合格発表日 3月20日(木)

日程	学科等名 (募集人員)	大学入試センター試験の 利用教科・科目名		個別学力検査等		大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等												
		教科	科目名等	教科等	科目名等	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	総合問題	実技	面接	小論文	配点計	
前期日程 ※1	経済学科 (85人)	国 地歴 公民 理数	国 世B, 日B, 地理B 現社, 倫, 政経, 倫・政経 ※2 } から2 理総A, 理総B, 物, 化, 生, 地学 } ※3	国 数外	現代文 数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B ※6 } から1 英Ⅰ・英Ⅱ・リーディング・ライティング }	センター試験	200	*100 *200	*100 *200	200	*100 *200	200						800
						個別学力検査 ※7	*200			*200		*200						
	計	200 *400	*100 *200	*100 *200	200 *400	*100 *200	200 *400										1,000	
後期日程	経済学科 (15人)	国 地歴 公民 数	国 世B, 日B, 地理B } から1 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } ※4 数Ⅰ・数A 数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 工, 簿, 情報から1 理総A, 理総B, 物, 化, 生, 地学から1 ※5	個別学力検査等は課さない。	センター試験 ※8	200 100	*150 *50	*150 *50	100 300	50 150	300 200							800
					個別学力検査													
	計 ※9	200 100	*150 *50		*150 *50	100 300	50 150	300 200									800	
	経済システム法 学科 (40人)	外	数Ⅰ・数A 数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 工, 簿, 情報から1 英, 独, 仏, 中, 韓から1 〔4教科6科目〕又は〔5教科6科目〕															

【日程】欄

※1 個別学力検査等を受験した方のうち、大学入試センター試験の合計点が上位10人の方は、優先的に合格とします。

【大学入試センター試験の利用教科・科目名】欄

「工業数理基礎」, 「簿記・会計」及び「情報関係基礎」を選択できる方は、職業教育を主とする学科、総合学科をもつ高等学校においてこれらの科目を履修した方(大学入学資格検定でこれらに相当する科目に合格している方を含みます。)及び専修学校の高等課程の修了(見込み)者に限ります。

「英語」は、リスニングを課します。筆記(200点満点)とリスニング(50点満点)の合計得点を200点満点に換算し、「外国語」の他の科目を受験した方と比較できるようにして利用します。ただし、重度難聴者でリスニングを免除された方については、筆記(200点満点)の得点をそのまま利用します。

※2 「公民」においては、同一名称を含む科目の組合せで2科目を選択することはできません。

※3 3科目以上を受験した方については、『「地理歴史, 公民」の第1解答科目と「理科」の第1解答科目』, 『「地理歴史, 公民」の2科目』及び『「理科」の2科目』の3つの組合せのうち、最も高得点となる組合せの成績を利用します。

※4 「地理歴史」及び「公民」から2科目受験した方については、第1解答科目の成績を利用します。

※5 「理科」を2科目受験した方については、第1解答科目の成績を利用します。

【個別学力検査等】欄

※6 数学Bは「統計とコンピュータ」及び「数値計算とコンピュータ」を除きます。

【大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等】欄

配点に \*印を付してある教科は選択教科を表します。

※7 選択教科による不公平が生じないように、得点調整を行う場合があります。

※8 上段下段に記されている二つの算定方式により総合点を求め、いずれか高い総合点を大学入試センター試験の総合点として用います。

※9 ※8の事由によります。

(4) 理学部

【前期日程】選抜期日2月25日(火), 合格発表日3月6日(木) 【後期日程】選抜期日3月12日(水), 合格発表日3月20日(木)

日程	学科等名 (募集人員)	大学入試センター試験の 利用教科・科目名		個別学力検査等		大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等												
		教科 等	科目名等	教科 等	科目名等	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	総合 問題	実技	面接	小論文	配点 合計	
前期 日程	数理・自然情報 科学科 (25人)	国 地歴 公民 数	国 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B } から1 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } ※1 数I・数A 数II・数B, 工, 簿, 情報から1	数	数I・数II・数III・数A・数B・数C ※3	センター試験	200	*100	*100	200	200	200					900	
		理 外	理総A, 理総B, 物, 化, 生, 地学から2 ※2 英, 独, 仏, 中, 韓から1 〔5教科7科目〕			個別学力検査				600							600	
						計	200	*100	*100	800	200	200						1,500
	物理科学科 (20人)	国 地歴 公民 数	国 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B } から1 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } ※1 数I・数A 数II・数B, 工, 簿, 情報から1	理	物I・物II ※4	センター試験	200	*100	*100	200	200	200						900
		理 外	物 理総A, 理総B, 化, 生, 地学から1 英, 独, 仏, 中, 韓から1 〔5教科7科目〕			個別学力検査					400							400
						計	200	*100	*100	200	600	200						
	化学科 (15人)	国 地歴 公民 数	国 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B } から1 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } ※1 数I・数A 数II・数B, 工, 簿, 情報から1	理	化I・化II ※5	センター試験	200	*100	*100	200	200	300						1,000
理 外		化 理総A, 理総B, 物, 生, 地学から1 英, 独, 仏, 中, 韓から1 〔5教科7科目〕			個別学力検査					400							400	
					計	200	*100	*100	200	600	300							1,400
地質科学科 (10人)	国 地歴 公民 数	国 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B } から1 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } ※1 数I・数A 数II・数B, 工, 簿, 情報から1	その他	面接(物理I, 化学I, 生物I又は地学Iから1科目 を選択し, 選択した科目の範囲を含む口頭試験)	センター試験	200	*100	*100	200	200	200						900	
	理 外	理総A, 理総B, 物, 化, 生, 地学から2 英, 独, 仏, 中, 韓から1 〔5教科7科目〕			個別学力検査										300		300	
					計	200	*100	*100	200	200	200				300			1,200
生物科学科 (15人)	国 数	国 数I・数A 数II・数B, 工, 簿, 情報から1	その他	面接(生I・生IIの範囲を含む口頭試験) ※6	センター試験	20				80	200	100					400	
	理 外	生 物, 化, 地学から1 英, 独, 仏, 中, 韓から1 〔4教科6科目〕			個別学力検査										100		100	
					計	20				80	200	100			100			500
物質循環学科 (10人)	国 地歴 公民 数	国 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B } から1 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } ※1 数I・数A 数II・数B, 工, 簿, 情報から1	その他	小論文	センター試験	200	*100	*100	200	200	200						900	
	理 外	理総A, 理総B, 物, 化, 生, 地学から2 ※2 英, 独, 仏, 中, 韓から1 〔5教科7科目〕			個別学力検査											900	900	
					計	200	*100	*100	200	200	200					900		1,800
後期 日程	数理・自然情報 科学科 (27人)	国 地歴 公民 数	国 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B } から1 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } ※1 数I・数A 数II・数B, 工, 簿, 情報から1	数	数I・数II・数A・数B } ※3 数III・数C }	センター試験	200	*100	*100	200	200	200					900	
		理 外	理総A, 理総B, 物, 化, 生, 地学から2 ※2 英, 独, 仏, 中, 韓から1 〔5教科7科目〕	理	物I・物II ※4 化I・化II ※5 生I・生II ※7 地学I・地学II ※8 } から1	個別学力検査				300 (数I, 数II, 数A, 数B) 250 (数III, 数C)	250						800	
						計	200	*100	*100	750	450	200						1,700
	物理科学科 (10人)	国 地歴 公民 数	国 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B } から1 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } ※1 数I・数A 数II・数B, 工, 簿, 情報から1	個別学力検査等は課さない。		センター試験	200	*100	*100	200	200	200					900	
	理 外	物 理総A, 理総B, 化, 生, 地学から1 英, 独, 仏, 中, 韓から1 〔5教科7科目〕			個別学力検査												900	
					計	200	*100	*100	200	200	200							900

日程	学科等名 (募集人員)	大学入試センター試験の 利用教科・科目名		個別学力検査等		大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等													
		教科	科目名等	教科等	科目名等	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	総合問題	実技	面接	小論文	配点計		
後 期 日 程	化学科 (15人)	国 地歴 公民 数 理 外	国 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B } から1 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } ※1 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B, 工, 簿, 情報から1 化 理総A, 理総B, 物, 生, 地学から1 英, 独, 仏, 中, 韓から1 〔5教科7科目〕	その他	小論文	センター試験	200	*100	*100	200	200	200						900	
						個別学力検査											300	300	
						計	200	*100	*100	200	200	200					300	1,200	
	地質科学科 (15人)	国 地歴 公民 数 理 外	国 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B } から1 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } ※1 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B, 工, 簿, 情報から1 理総A, 理総B, 物, 化, 生, 地学から2 英, 独, 仏, 中, 韓から1 〔5教科7科目〕	数 数理	数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B ※9 数Ⅲ・数C ※10 理総B 物Ⅰ・物Ⅱ ※4 } から2 化Ⅰ・化Ⅱ ※5 生Ⅰ・生Ⅱ ※7 地学Ⅰ・地学Ⅱ ※8	センター試験	200	*100	*100	200	200	200						900	
						個別学力検査							300 (数Ⅰ, 数Ⅱ, 数A, 数B) *250 (数Ⅲ, 数C)	*各250					800
						計	200	*100	*100	1,200	200							1,700	
	生物科学科 (15人)	国 地歴 公民 数 理 外	国 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B } から1 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } ※1 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B, 工, 簿, 情報から1 物, 化, 生, 地学から2 英, 独, 仏, 中, 韓から1 〔5教科7科目〕	数 理	数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B ※9 物Ⅰ・物Ⅱ ※4 } から2 化Ⅰ・化Ⅱ ※5 生Ⅰ・生Ⅱ ※7 地学Ⅰ・地学Ⅱ ※8	センター試験	200	*100	*100	200	200	200						900	
						個別学力検査				200	600							800	
						計	200	*100	*100	400	800	200						1,700	
	物質循環学科 (10人)	国 地歴 公民 数 理 外	国 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B } から1 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } ※1 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B, 工, 簿, 情報から1 理総A, 理総B, 物, 化, 生, 地学から2 ※2 英, 独, 仏, 中, 韓から1 〔5教科7科目〕			センター試験	200	*100	*100	200	200	200						900	
						個別学力検査				300	500							800	
						計	200	*100	*100	500	700	200						1,700	

【大学入試センター試験の利用教科・科目名】欄

「工業数理基礎」, 「簿記・会計」及び「情報関係基礎」を選択できる方は, 職業教育を主とする学科, 総合学科をもつ高等学校においてこれらの科目を履修した方(大学入学資格検定でこれらに相当する科目に合格している方を含みます。)及び専修学校の高等課程の修了(見込み)者に限ります。

「英語」は, リスニングを課します。筆記(200点満点)とリスニング(50点満点)の合計得点を200点満点に換算し, 「外国語」の他の科目を受験した方と比較できるようにして利用します。ただし, 重度難聴者でリスニングを免除された方については, 筆記(200点満点)の得点をそのまま利用します。

- ※1 「地理歴史」及び「公民」から2科目受験した方については, 第1解答科目の成績を利用します。
- ※2 「理科」においては, 「理科総合A」と「理科総合B」を組み合わせることはできません。

【個別学力検査等】欄

- ※3 数学Bは「統計とコンピュータ」及び「数値計算とコンピュータ」を除き, 数学Cは「確率分布」及び「統計処理」を除き, 出題します。
- ※4 高等学校学習指導要領に記載されている「物理Ⅱ」の内容のうち, 選択分野「物質と原子」及び「原子と原子核」を除き出題します。
- ※5 化学Ⅱの選択分野「生活と物質」及び「生命と物質」について出題する場合は, いずれか一方を選択解答することとします。
- ※6 面接は, 生物Ⅱの選択分野「生物の分類と進化」及び「生物の集団」についても出題範囲に含まれます。
- ※7 生物Ⅱの選択分野「生物の分類と進化」及び「生物の集団」について出題する場合は, いずれか一方を選択解答することとします。
- ※8 地学Ⅱは, 選択分野「地球の探究」, 「地球表層の探究」及び「宇宙の探究」のうち「宇宙の探究」を出題範囲から除きます。「地球の探究」及び「地球表層の探究」について出題する場合は, いずれか一方を選択解答することとします。
- ※9 数学Bは「統計とコンピュータ」及び「数値計算とコンピュータ」を除き出題します。
- ※10 数学Cは「確率分布」及び「統計処理」を除き出題します。

【大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等】欄

配点に\*印を付してある教科は選択教科を表します。

(5) 医学部

【前期日程】選抜期日 2月25日(火)・26日(水) (26日は医学科のみ), 合格発表日 3月6日(木) 【後期日程】選抜期日 3月12日(水) (・13日(木) ※1), 合格発表日 3月20日(木)

日程	学科等名 (募集人員)	大学入試センター試験の 利用教科・科目名		個別学力検査等		大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等													
		教科	科目名等	教科等	科目名等	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	総合問題	実技	面接	小論文	配点計		
前期日程	医学科 (55人)	国 地歴 公民 数 理 外	国 世B, 日B, 地理B } から1 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } ※2 数I・数A 数II・数B, 工, 簿, 情報から1 物, 化, 生, 地学から2 英 〔5教科7科目〕	数 外 他	数I・数II・数III・数A・数B・数C ※3 英I・英II・リーディング・ライティング 面接 小論文	センター試験	100	*50	*50	100	100	100						450	
						個別学力検査											100 ※6		400
						計	100	*50	*50	250	100	250					100 ※6		※7 850
前期日程	保健 学科	国 地歴 公民 数 理 外	国 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B } から1 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } ※2 数I・数A 数II・数B, 工, 簿, 情報から1 物, 化, 生から2 英 〔5教科7科目〕	数 外	数I・数II・数A・数B ※4 英I・英II・リーディング・ライティング	センター試験	100	*50	*50	100	100	100						450	
						個別学力検査												400	
						計	100	*50	*50	300	100	300						850	
後期日程	医学科 (45人)	国 地歴 公民 数 理 外	国 世B, 日B, 地理B } から1 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } ※2 数I・数A 数II・数B, 工, 簿, 情報から1 物, 化, 生, 地学から2 英 〔5教科7科目〕	数 外	数I・数II・数III・数A・数B・数C ※3 英I・英II・リーディング・ライティング  (志願者数が募集人員の20倍を超えた場合は, 2段階 選抜を行います。 ※5)	センター試験	100	*50	*50	100	100	100						450	
						個別学力検査											※1		500
						計	100	*50	*50	350	100	350						950	
	保健 学科	国 地歴 公民 数 理 外	国 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B } から1 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } ※2 数I・数A 数II・数B, 工, 簿, 情報から1 物, 化, 生から2 英 〔5教科7科目〕	他	面接	センター試験	100	*50	*50	100	100	100							450
						個別学力検査											200		200
						計	100	*50	*50	100	100	100					200		650
						センター試験	100	*50	*50	200	200	100							650
						個別学力検査											200		200
計	100	*50	*50	200	200	100					200		850						

【後期日程 選抜期日】欄

※1 医学科後期日程では, 高等学校卒業程度認定試験合格者及び医学科が必要と認めた場合等については, 個別面接を行い, 総合判定します。個別面接は個別学力検査の翌日の3月13日(木)に実施します。

【大学入試センター試験の利用教科・科目名】欄

「工業数理基礎」, 「簿記・会計」及び「情報関係基礎」を選択できる方は, 職業教育を主とする学科, 総合学科をもつ高等学校においてこれらの科目を履修した方(大学入学資格検定でこれらに相当する科目に合格している方を含みます。)及び専修学校の高等課程の修了(見込み)者に限ります。

「英語」は, リスニングを課します。筆記(200点満点)とリスニング(50点満点)の合計得点を200点満点に換算して利用します。ただし, 重度難聴者でリスニングを免除された方については, 筆記(200点満点)の得点をそのまま利用します。

※2 「地理歴史」及び「公民」から2科目受験した方については, 第1解答科目の成績を利用します。

【個別学力検査等】欄

※3 数学Bは「統計とコンピュータ」及び「数値計算とコンピュータ」を, 数学Cは「確率分布」及び「統計処理」を除きます。

※4 数学Bは「統計とコンピュータ」及び「数値計算とコンピュータ」を除きます。

※5 志願者数が募集人員の20倍を超えた場合には, 大学入試センター試験の成績, 調査書の内容及び志願調書の内容を総合して第1段階選抜を行い, その合格者について, 個別学力検査及び必要により面接を実施します。

【大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等】欄

配点に \*印を付してある教科は選択教科を表します。

※6 小論文, 面接の評価が著しく低い場合は, 不合格とすることがあります。

※7 大学入試センター試験の成績並びに個別学力検査等における個別学力検査, 面接, 小論文, 調査書及び志願調書の内容を総合して行います。

(6) 工学部

【前期日程】選抜期日 2月25日(火)、合格発表日 3月6日(木) 【後期日程】選抜期日 3月12日(水)、合格発表日 3月20日(木)

日程	学科等名 (募集人員)	大学入試センター試験の 利用教科・科目名		個別学力検査等		大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等																																			
		教科	科目名等	教科等	科目名等	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	総合問題	実技	面接	小論文	配点 合計																								
前期 日程	機械システム工 学科 (55人)	国 地歴 公民 数 理 外	国 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B }から1 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } ※1 数I, 数I・数Aから1 数II, 数II・数B, 工, 簿, 情報から1 理総A, 理総B, 物, 化, 生, 地学から2 英, 独, 仏, 中, 韓から1 〔5教科7科目〕	数 理	数I・数II・数III・数A・数B・数C ※2 物I・物II ※3	センター試験	100	*50	*50	150	150	200						650																							
	個別学力検査																																		500						
				計	100	*50	*50	400	400	200																											1,150				
																																						建築学科 (38人)	情報工学科 (30人)	物質工学科 (38人)	環境機能工学科 (30人)
				その他	面接	個別学力検査																															250	250			
	環境機能工学科 (10人)																		計	100	*50	*50	200	200	200														1,000		

【大学入試センター試験の利用教科・科目名】欄

「工業数理基礎」, 「簿記・会計」及び「情報関係基礎」を選択できる方は、職業教育を主とする学科、総合学科をもつ高等学校においてこれらの科目を履修した方(大学入学資格検定でこれらに相当する科目に合格している方を含みます。 )及び専修学校の高等課程の修了(見込み)者に限ります。

「英語」は、リスニングを課します。筆記(200点満点)とリスニング(50点満点)の合計得点を200点満点に換算し、「外国語」の他の科目を受験した方と比較できるようにして利用します。ただし、重度難聴者でリスニングを免除された方については、筆記(200点満点)の得点をそのまま利用します。

※1 「地理歴史」及び「公民」から2科目受験した方については、第1解答科目の成績を利用します。

【個別学力検査等】欄

※2 数学Bは「数列」及び「ベクトル」を、数学Cは「行列とその応用」及び「式と曲線」を範囲とします。

※3 物理IIは「力と運動」, 「電気と磁気」及び『「物質と原子」のうち「原子, 分子の運動」』を範囲とします。

※4 化学IIの選択分野「生活と物質」及び「生命と物質」について出題する場合は、いずれか一方を選択解答することとします。

【大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等】欄

配点に \*印を付してある教科は選択教科を表します。

(7) 農学部

【前期日程】選抜期日 2月25日(火), 合格発表日 3月6日(木) 【後期日程】選抜期日 3月12日(水), 合格発表日 3月20日(木)

日程	学科等名 (募集人員)	大学入試センター試験の 利用教科・科目名		個別学力検査等		大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等													
		教科	科目名等	教科等	科目名等	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	総合問題	実技	面接	小論文	配点計		
前期日程	食料生産科学科 (40人)	国数	国(近代以降の文章) 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B, 工, 簿, 情報から1 物, 化, 生から2	理	化Ⅰ・化Ⅱ ※2 } から1 生Ⅰ・生Ⅱ ※3 }	センター試験	100			200	200	200						700	
		理外	英			個別学力検査					200								200
			[4教科6科目]			計	100				200	400	200						
	森林科学科 (29人)	国地歴公民数	国(近代以降の文章) 世B, 日B, 地理B } から1 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } ※1 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B, 工, 簿, 情報から1	その他	小論文	センター試験	100	*100	*100	200	200	200							800
		理外	理総A, 理総B, 物, 化, 生, 地学から2 英, 独, 仏, 中, 韓から1			個別学力検査										200		200	
			[5教科7科目]			計	100	*100	*100	200	200	200					200		1,000
応用生命科学科 (25人)	国数	国(近代以降の文章) 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B, 工, 簿, 情報から1 物, 化, 生から2	理	化Ⅰ・化Ⅱ ※2 } から1 生Ⅰ・生Ⅱ ※3 }	センター試験	100			200	200	200							700	
	理外	英			個別学力検査					200								200	
		[4教科6科目]			計	100				200	400	200							900
後期日程	食料生産科学科 (10人)	数	数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B, 工, 簿, 情報から1 物, 化, 生から2	その他	面接	センター試験				200	400	200						800	
		理外	英			個別学力検査									200		200		
			[3教科5科目]			計					200	400	200				200		1,000
	森林科学科 (12人)	国地歴公民数	国(近代以降の文章) 世B, 日B, 地理B } から1 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } ※1 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B, 工, 簿, 情報から1	その他	小論文	センター試験	100	*100	*100	200	200	200							800
		理外	理総A, 理総B, 物, 化, 生, 地学から2 英, 独, 仏, 中, 韓から1			個別学力検査									100		100		
			[5教科7科目]			計	100	*100	*100	200	200	200					100		900
応用生命科学科 (15人)	国数	国(近代以降の文章) 数Ⅰ・数A 数Ⅱ・数B, 工, 簿, 情報から1 物, 化, 生から2	その他	面接	センター試験	100			200	200	200							700	
	理外	英			個別学力検査										※4				
		[4教科6科目]			計	100				200	200	200						※5 700	

【大学入試センター試験の利用教科・科目名】欄

「工業数理基礎」, 「簿記・会計」及び「情報関係基礎」を選択できる方は, 職業教育を主とする学科, 総合学科をもつ高等学校においてこれらの科目を履修した方(大学入学資格検定でこれらに相当する科目に合格している方を含みます。)及び専修学校の高等課程の修了(見込み)者に限ります。

「英語」は, リスニングを課します。筆記(200点満点)とリスニング(50点満点)の合計得点を200点満点に換算し, 「外国語」の他の科目を受験した方と比較できるようにして利用します。ただし, 重度難聴者でリスニングを免除された方については, 筆記(200点満点)の得点をそのまま利用します。

※1 「地理歴史」及び「公民」から2科目受験した方については, 第1解答科目の成績を利用します。

【個別学力検査等】欄

※2 化学Ⅱの選択分野「生活と物質」及び「生命と物質」について出題する場合は, いずれか一方を選択解答することとします。

※3 生物Ⅱの選択分野「生物の分類と進化」及び「生物の集団」について出題する場合は, いずれか一方を選択解答することとします。

【大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等】欄

配点に\*印を付してある教科は選択教科を表します。

※4 段階評価をします。

※5 大学入試センター試験の成績及び個別学力検査等における面接の内容を総合して行います。

(8) 繊維学部

【前期日程】選抜期日 2月25日(火)、合格発表日 3月6日(木) 【後期日程】選抜期日 3月12日(水)、合格発表日 3月20日(木)

日程	学科等名 (募集人員)	大学入試センター試験の 利用教科・科目名		個別学力検査等		大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等														
		教科	科目名等	教科等	科目名等	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	総合問題	実技	面接	小論文	配点計			
前期日程	繊維・感性工学系 先進繊維工学課程 (10人) 感性工学課程 (10人) 機械・ロボット工学系 (25人) 応用生物科学系 (20人) 化学・材料系 (60人)	国 地歴 公民 数 理 外	国(近代以降の文章) 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B } から1 現社, 倫, 政経, 倫・政経 } ※1 数I・数A 数II・数B, 工, 簿, 情報から1 物, 化, 生から2 英, 独, 仏, 中, 韓から1 〔5教科7科目〕	理	物I・物II ※2 化I・化II ※3 生I・生II ※4 } から1	センター試験	50	*25	*25	200	100	125						500		
						個別学力検査 ※6					200								200	
						計	50	*25	*25	200	300	125							700	
						理	化I・化II ※3	センター試験	50	*25	*25	200	100	125						500
						個別学力検査 ※6					200								200	
計	50	*25	*25	200	300	125							700							
後期日程	繊維・感性工学系 先進繊維工学課程 (10人) 感性工学課程 (10人) 機械・ロボット工学系 (20人) 応用生物科学系 (20人) 化学・材料系 (32人)			数 理	数I・数II・数III・数A・数B・数C ※5 物I・物II ※2 化I・化II ※3 生I・生II ※4 } から1	センター試験	100	*100	*100	200	200	200						800		
						個別学力検査 ※6					200	200						400		
						計	100	*100	*100	400	400	200						1,200		

【大学入試センター試験の利用教科・科目名】欄

「工業数理基礎」, 「簿記・会計」及び「情報関係基礎」を選択できる方は、職業教育を主とする学科、総合学科をもつ高等学校においてこれらの科目を履修した方(大学入学資格検定でこれらに相当する科目に合格している方を含まず。)及び専修学校の高等課程の修了(見込み)者に限ります。

「英語」は、リスニングを課します。筆記(200点満点)とリスニング(50点満点)の合計得点を200点満点に換算し、「外国語」の他の科目を受験した方と比較できるようにして利用します。ただし、重度難聴者でリスニングを免除された方については、筆記(200点満点)の得点をそのまま利用します。

※1 「地理歴史」及び「公民」から2科目受験した方については、第1解答科目の成績を利用します。

【個別学力検査等】欄

※2 高等学校学習指導要領に記載されている「物理II」の内容のうち、選択分野「物質と原子」及び「原子と原子核」を除き出題します。

※3 化学IIの選択分野「生活と物質」及び「生命と物質」について出題する場合は、いずれか一方を選択解答することとします。

※4 生物IIの選択分野「生物の分類と進化」及び「生物の集団」について出題する場合は、いずれか一方を選択解答することとします。

※5 数学Bは「統計とコンピュータ」及び「数値計算とコンピュータ」を除き、数学Cは「確率分布」及び「統計処理」を除き、出題します。

【大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等】欄

配点に \*印を付してある教科は選択教科を表します。

※6 選択科目による不公平が生じないように、得点調整を行う場合があります。

### Ⅲ A O 入 試

入学定員の一部について、大学入試センター試験を課さないAO入試を理学部（数理・自然情報科学科）及び農学部（森林科学科）で、大学入試センター試験を課すAO入試を理学部（地質科学科）で、それぞれ行います。

なお、AO入試の合格者が募集人員に満たない場合は、その不足した人員を理学部は後期日程の募集人員に、農学部は前期日程の募集人員に、それぞれ加えます。

※ 「ⅢAO入試」の項（22～24 ページ）において、「高等学校」には「中等教育学校」を含むものとします。

#### 1 理学部 数理・自然情報科学科

募集人員	3 人
出願資格及び要件	次の各号に該当する方とします。 (1) 高等学校を卒業した方又は平成26年3月卒業見込みの方 (2) 本学科の教育目標に合致する勉学意欲を持ち、かつ幅広い基礎学力を有し、本学において数理科学を勉学する強い意志を持つ方 (3) 合格した場合、入学を確約できる方
選抜方法等	大学入試センター試験を免除します。 選抜は、第一次選抜と第二次選抜に分けて行います。第一次選抜の合格者に対して面接試験を含む第二次選抜の結果を総合して選考し、合格者を決定します。 (1) 第一次選抜：書類審査（調査書及び自己推薦書・志望理由書）により行います。 (2) 第二次選抜：第一次選抜の合格者に対して行います。面接試験（a. 面接の基本的な資料とするための筆記課題、b. 個別の面接）によって選考します。ただし、a. は学習指導要領の趣旨を踏まえて、高等学校の生徒が論理的に思考して理解できる程度の数学を題材とした筆記課題とします。
出願期間	平成 25 年 9 月 2 日（月）から 9 月 13 日（金）まで
選抜期日	平成 25 年 10 月 12 日（土）
合格発表等	(1) 第一次選抜の結果（合格又は不合格）は、平成25年10月2日（水）付けで志願者全員に郵送します。 (2) 第二次選抜の結果の発表 平成25年11月6日（水）
入学手続期間	平成 25 年 12 月 5 日（木）から 12 月 13 日（金）まで



2 理学部 地質科学科

募集人員	5 人																																		
出願資格及び要件	<p>次の各号に該当する方とします。</p> <p>(1) 高等学校を平成24年4月1日から平成26年3月31日までに、卒業した方又は卒業見込みの方</p> <p>(2) 本学科の教育目標に合致する勉学意欲をもち、かつ幅広い基礎学力を有し、本学において地質科学を勉学する強い意志をもつ方</p> <p>(3) 高等学校において理科総合A、理科総合B又は地学Iなどで、地学に関する内容を学習した方          ※ 地学に関する内容を学習したことについて、調査書あるいは別紙（様式指定なし）に、その旨記載したものを添付してください。</p> <p>(4) 平成25年度大学入試センター試験を受験した方、又は平成26年度大学入試センター試験を受験する方</p> <p>(5) 国公立大学の他のAO入試あるいは推薦入試に出願しない方</p> <p>(6) 合格した場合、入学を確約できる方</p>																																		
選抜方法等	<p>選抜は、第一次選抜と第二次選抜に分けて行い、大学入試センター試験を課します。第一次選抜の合格者に対して面接試験を含む第二次選抜の結果を総合して選考し、大学入試センター試験の結果によって合格者を最終的に決定します。</p> <p>(1) 第一次選抜：書類審査（調査書及び自己推薦書・志望理由書）により行い、募集人員の3倍を超えない範囲で合格者を決定します。</p> <p>(2) 第二次選抜：第一次選抜の合格者に対して行います。面接試験(a. 面接の基本的な資料とするための実地試験, b. 個別の面接)によって選考します。実地試験では自然観察力・実験遂行力・講義理解力を評価します。</p> <p>(3) 最終選抜（大学入試センター試験）：第二次選抜合格者のうち、平成25年度あるいは平成26年度大学入試センター試験の合計得点が450点以上（5教科7科目、900点満点）の方を最終合格とします。</p> <p>&lt;大学入試センター試験で受験を要する教科・科目名等&gt;</p> <table border="1" data-bbox="432 1155 1217 1413"> <thead> <tr> <th>教科</th> <th>科目名等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国</td> <td>国</td> </tr> <tr> <td>地歴</td> <td>世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B } から1</td> </tr> <tr> <td>公民</td> <td>現社, 倫, 政経, 倫・政経 } ※1</td> </tr> <tr> <td>数</td> <td>数I・数A</td> </tr> <tr> <td></td> <td>数II・数B, 工, 簿, 情報から1</td> </tr> <tr> <td>理</td> <td>理総A, 理総B, 物, 化, 生, 地学から2</td> </tr> <tr> <td>外</td> <td>英, 独, 仏, 中, 韓から1 ※2</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">[5教科7科目]</td> </tr> </tbody> </table> <p>「工業数理基礎」、「簿記・会計」及び「情報関係基礎」を選択できる方は、職業教育を主とする学科、総合学科をもつ高等学校においてこれらの科目を履修した方に限りま。</p> <p>※1 「地理歴史」及び「公民」から2科目受験した方については、第1解答科目の成績を利用します。</p> <p>※2 「外国語」のうち「英語」については、筆記及びリスニングの両方を受験している場合のみ、科目「英語」を受験していることとなります。また、「英語（リスニングを含む）」の250点満点（素点）を200点満点に換算し、「外国語」の他の科目を受験した方と比較できるようにして利用します。ただし、重度難聴者でリスニングを免除された方については、筆記（200点満点）の得点をそのまま利用します。</p> <p>&lt;大学入試センター試験の配点&gt;</p> <table border="1" data-bbox="432 1637 1377 1697"> <thead> <tr> <th>教科名</th> <th>国語</th> <th>地歴</th> <th>公民</th> <th>数学</th> <th>理科</th> <th>外国語</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>配点</td> <td>200</td> <td>*100</td> <td>*100</td> <td>200</td> <td>200</td> <td>200</td> <td>900</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 配点に*印を付してある教科は、選択教科を表します。</p>	教科	科目名等	国	国	地歴	世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B } から1	公民	現社, 倫, 政経, 倫・政経 } ※1	数	数I・数A		数II・数B, 工, 簿, 情報から1	理	理総A, 理総B, 物, 化, 生, 地学から2	外	英, 独, 仏, 中, 韓から1 ※2	[5教科7科目]		教科名	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	合計	配点	200	*100	*100	200	200	200	900
教科	科目名等																																		
国	国																																		
地歴	世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B } から1																																		
公民	現社, 倫, 政経, 倫・政経 } ※1																																		
数	数I・数A																																		
	数II・数B, 工, 簿, 情報から1																																		
理	理総A, 理総B, 物, 化, 生, 地学から2																																		
外	英, 独, 仏, 中, 韓から1 ※2																																		
[5教科7科目]																																			
教科名	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	合計																												
配点	200	*100	*100	200	200	200	900																												
出願期間	平成25年9月2日（月）から9月13日（金）まで																																		
選抜期日	平成25年10月12日（土）																																		
合格発表等	<p>(1) 第一次選抜の結果（合格又は不合格）は、平成25年10月2日（水）付けで志願者全員に郵送します。</p> <p>(2) 第二次選抜の結果の発表 平成25年11月6日（水）に行い、平成25年度大学入試センター試験の成績による判定を希望し、かつ、その得点が規定の得点に達している方は、この時点で最終合格とします。</p> <p>(3) 最終合格者の発表 平成26年2月7日（金）</p>																																		
入学手続期間	平成25年11月6日最終合格者：平成25年12月5日（木）から12月13日（金）まで 平成26年2月7日最終合格者：平成26年2月12日（水）から2月19日（水）まで																																		

## 3 農学部 森林科学科

募集人員	8 人
出願資格及び要件	<p>次の各号のいずれかに該当する方で、本学科のアドミッション・ポリシーに合致した強い勉強意欲を持ち、合格した場合に入学を確約できる方に限ります。</p> <p>(1) 高等学校を卒業した方又は平成26年3月卒業見込みの方</p> <p>(2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した方又は平成26年3月修了見込みの方</p> <p>(3) 外国において学校教育における12年の課程を修了した方又は平成26年3月31日までに修了見込みの方</p> <p>(4) 前号に準ずる方で文部科学大臣の指定したもの（昭和56年文部省告示第153号）</p> <p>(5) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した方又は平成26年3月31日までにこれに該当する見込みの方</p> <p>(6) 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他文部科学大臣が定める基準を満たすもの）に限り、）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した方</p> <p>(7) 文部科学大臣が指定したもの（昭和23年文部省告示第47号）</p> <p>(8) 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した方（旧規程による大学入学資格検定に合格した方を含みます。）</p>
選抜方法等	<p>大学入試センター試験を免除します。</p> <p>選抜は、第一次選抜と第二次選抜に分けて行います。</p> <p>第一次選抜の合格者に対して、面接を含む実地試験による第二次選抜の結果を総合して選考し、合格者を最終的に決定します。</p> <p>(1) 第一次選抜：自己推薦書・志望理由書により行い、募集人員の3倍を超えない範囲で合格者を決定します。</p> <p>(2) 第二次選抜：第一次選抜の合格者に対して行います。実地試験（a. 模擬講義を受講しての小テスト、b. 模擬演習・実習とレポート作成、c. 個別の面接）によって選考します。実地試験では、フィールドにおける観察力、講義の理解力、レポートの作成能力等を評価します。</p>
出願期間	平成25年8月5日（月）から8月9日（金）まで
選抜期日	平成25年9月24日（火）・25日（水）の2日間
合格発表等	<p>(1) 第一次選抜の結果（合格又は不合格）は、平成25年9月10日（火）付けで志願者全員に郵送します。</p> <p>(2) 合格者の発表 平成25年10月8日（火）</p>
入学手続期間	平成25年10月9日（水）から10月16日（水）まで

## IV 推薦入試

入学定員の一部について、大学入試センター試験及び個別学力検査を課さない「推薦入試Ⅰ」と、大学入試センター試験を課し、個別学力検査を課さない「推薦入試Ⅱ」を実施します。

なお、推薦入試の合格者が募集人員に満たない場合は、その不足した人員を前期日程の募集人員に加えます。

実施する学部・学科等は次のとおりです。

推薦入試Ⅰ…教育学部(学校教育教員養成課程, 特別支援学校教員養成課程, 生涯スポーツ課程), 経済学部, 理学部(化学科, 物質循環学科), 医学部〔保健学科(看護学専攻, 検査技術科学専攻)], 工学部, 農学部, 繊維学部

推薦入試Ⅱ…理学部(物理科学科), 医学部(医学科), 工学部(機械システム工学科, 電気電子工学科, 土木工学科, 物質工学科, 情報工学科, 環境機能工学科)

※ 国公立大学の推薦入試(大学入試センター試験を課す場合又は課さない場合を含めて)への出願は、一つの大学・学部に限ります。

ただし、信州大学工学部の大学入試センター試験を課さない推薦入試(推薦入試Ⅰ)に不合格となった方は、同一学科を志望する場合に限り、信州大学工学部の大学入試センター試験を課す推薦入試(推薦入試Ⅱ)に出願することができます。

※ 「IV推薦入試」の項(25～37 ページ)において、「高等学校」には「中等教育学校」を含むものとし、これらの学校の長を「学校長」といいます。

1 教育学部

課程（コース）名 及び 募集人員	学校教育教 員養成課程	現代教育コース	10人	学校教育教 員養成課程	図画工作・美術教育コース	3人
		国語教育コース	5人		保健体育コース	3人
		英語教育コース	6人		ものづくり・技術教育コース	2人
		社会科教育コース	6人		家庭科教育コース	3人
		数学教育コース	4人	特別支援学校教員養成課程	5人	
		理科教育コース	5人	生涯スポー ツ課程	地域スポーツコース	7人
		音楽教育コース	5人		野外教育コース	3人
出願要件	<p>次の(1)、(2)、(3)の各号全て又は(4)に該当し、学校長が責任を持って推薦する方について、大学入試センター試験及び個別学力検査を免除し、選考を行います。</p> <p>ただし、各学校長が推薦できる人数は、(1)、(2)、(3)の各号全てに該当する方について、学校教育教員養成課程の各コース、特別支援学校教員養成課程及び生涯スポーツ課程の各コースにそれぞれ1人、合計14人以内としますが、(4)に該当する方を推薦する場合には、合計14人以内の範囲内であれば、学校教育教員養成課程の各コース及び特別支援学校教員養成課程に、さらに各1人を推薦できるものとします。</p> <p>(1) 高等学校を平成24年4月1日から平成26年3月31日までに、卒業した方又は卒業見込みの方</p> <p>(2) 学校教育教員養成課程及び特別支援学校教員養成課程志望の場合は、高等学校における全体の評定平均値が4.0以上の方 生涯スポーツ課程志望の場合は、高等学校における全体の評定平均値が3.8以上の方</p> <p>(3) 学校教育教員養成課程及び特別支援学校教員養成課程志望の場合は、教員になるための明確な志望と意欲を有し、その資質・能力を備えている方 生涯スポーツ課程志望の場合は、高齢化社会における生涯学習等の社会的要請に対応できるスポーツ並びに野外活動の専門的指導者になるための明確な志望と意欲を有し、その資質・能力を備えている方</p> <p>(4) 長野県内にある高等学校（地域キャンパス校は、この号において1校として取扱い、その場合の学校長は、副校長をもって充てる。）を平成26年3月31日までに卒業見込みの方で、高等学校における全体の評定平均値が4.0以上で、長野県において、教員となる強い志望と意欲を有し、その資質・能力を備え、学校長が特に責任を持って推薦できる方</p>					

<p>選抜方法等</p>	<p>大学入試センター試験及び個別学力検査を免除し、出願書類（調査書、推薦書、志望理由書、活動調書（図画工作・美術教育コース、保健体育コース、地域スポーツコース、野外教育コースの志願者のみ））及び試験の結果を総合して行います。</p> <p>課程・コース別の試験科目は下記のとおりです。</p>																																																																					
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">課程</th> <th rowspan="2">コース</th> <th colspan="3">試験科目</th> </tr> <tr> <th>面接</th> <th>小論文</th> <th>実技検査</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="11">学校教育 教員養成 課程</td> <td>現代教育コース</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>国語教育コース</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>英語教育コース</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>社会科教育コース</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>数学教育コース</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>理科教育コース</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>音楽教育コース</td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>図画工作・美術教育コース</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>保健体育コース</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ものづくり・技術教育コース</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>家庭科教育コース</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>特別支援学校教員養成課程</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">生涯スポーツ 課程</td> <td>地域スポーツコース</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>野外教育コース</td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table>			課程	コース	試験科目			面接	小論文	実技検査	学校教育 教員養成 課程	現代教育コース	○			国語教育コース	○	○		英語教育コース	○			社会科教育コース	○			数学教育コース	○			理科教育コース	○			音楽教育コース	○		○	図画工作・美術教育コース	○			保健体育コース	○	○		ものづくり・技術教育コース	○			家庭科教育コース	○			特別支援学校教員養成課程		○			生涯スポーツ 課程	地域スポーツコース	○			野外教育コース	○		○
	課程	コース	試験科目																																																																			
			面接	小論文	実技検査																																																																	
	学校教育 教員養成 課程	現代教育コース	○																																																																			
		国語教育コース	○	○																																																																		
		英語教育コース	○																																																																			
		社会科教育コース	○																																																																			
		数学教育コース	○																																																																			
		理科教育コース	○																																																																			
音楽教育コース		○		○																																																																		
図画工作・美術教育コース		○																																																																				
保健体育コース		○	○																																																																			
ものづくり・技術教育コース		○																																																																				
家庭科教育コース		○																																																																				
特別支援学校教員養成課程		○																																																																				
生涯スポーツ 課程	地域スポーツコース	○																																																																				
	野外教育コース	○		○																																																																		
<p>〈実技検査内容〉</p> <p><b>音楽教育コース志願者</b></p> <p>1. 以下に示した(1), (2), (3), (4)のうち, (1)は全員受験し, (2), (3), (4)についてはいずれか一つを選択して受験してください。</p> <p>(1) 声楽：イタリア歌曲, ドイツ歌曲, 日本歌曲, オペラ・アリアの中から任意の1曲</p> <p>(2) ピアノ：ハイドン, モーツァルト, ベートーヴェンのピアノ・ソナタの中から, 速度の速い任意の楽章</p> <p>(3) 管楽器：無伴奏のエチュード又は楽曲</p> <p>(4) 弦楽器：無伴奏のエチュード又は楽曲</p> <p>2. 反復は省略し, 暗譜で演奏してください。なお, 声楽曲は原語で, オペラのアリアは原調（ただし, 慣習的に移調が認められている場合を除く。）で歌ってください。</p> <p>3. 受験曲の曲目及び調性は, 出願書類と共に提出してください。提出後の曲目, 調性などの変更は認めません。</p> <p>4. 声楽の伴奏用楽譜は, 出願書類と共に提出してください。なお, 提出された楽譜は返却しません。</p> <p>5. ピアノ以外の楽器は持参してください。</p> <p><b>野外教育コース志願者</b></p> <p>野外教育活動で実施されているコミュニケーションゲーム等を行います。</p>																																																																						
出願期間	平成25年11月1日（金）から11月7日（木）まで																																																																					
選抜期日	平成25年11月23日（土）																																																																					
合格発表日	平成25年12月5日（木）																																																																					
入学手続期間	平成25年12月6日（金）から12月16日（月）まで																																																																					

2 経済学部

学科名 及び 募集人員	経済学科	一般推薦	22人
		特別推薦（商業に関する学科等）	3人
	経済システム法学科	一般推薦	10人
出願要件	<p>高等学校（特別推薦は商業に関する学科又は総合学科（商業科目 20 単位以上））若しくは特別支援学校高等部を卒業した方又は平成 26 年 3 月に卒業見込みの方で、下記の推薦要件を満たすものと学校長が認めて推薦し、合格した場合には入学を確約できる方とします。</p>		
選抜方法等	<p>大学入試センター試験及び個別学力検査を免除し、出願書類（調査書、推薦書、自己申告書、その他提出書類）の内容及び面接（口頭試問）の結果を総合して選抜します。</p>		
出願期間	平成 25 年 11 月 1 日（金）から 11 月 7 日（木）まで		
選抜期日	平成 25 年 11 月 16 日（土）又は 11 月 17 日（日）		
合格発表日	平成 25 年 11 月 20 日（水）		
入学手続期間	平成 25 年 11 月 21 日（木）から 11 月 28 日（木）まで		
推薦要件	<p><b>経済学科の推薦要件</b></p> <p>○ 一般推薦</p> <p>大学での経済学の勉学を前提とした明確な将来志望を持ち、例えば、企業組織等のリーダーとして活躍すること、行政組織の中で公共政策の立案運営にたずさわること、また、こうした分野で国際的に活躍することなどを目指す方で、本学部で修学するのに必要な基礎学力と積極的な勉学姿勢を有し、かつ次の（経 a）～（経 f）の一つ以上に該当する方</p> <p>（経 a） 学業成績が優秀な方（全体の評定平均値 4.0 以上） ただし、商業に関する学科又は総合学科（商業科目 20 単位以上）を卒業又は卒業見込みの方を除きます。</p> <p>（経 b） スポーツの全国レベルの競技会に出場し、優秀な成績をおさめた方</p> <p>（経 c） 芸術・文化の分野の全国レベルの発表会に出場し、優秀な成績をおさめた方</p> <p>（経 d） (1) 実用英語技能検定準 1 級以上又はその他の外国語の検定試験等でこれと同等の成績（たとえば、TOEFL-iBT 79 点以上、TOEFL-PBT 550 点以上、TOEIC 730 点以上など） (2) 日商簿記検定 1 級又は全経簿記能力検定上級 (3) 応用情報技術者（ソフトウェア開発技術者）以上 (4) 学業に関係の深いその他の資格・検定における上記と同等の成績</p> <p>（経 e） 継続した社会活動での顕著で具体的な実績があり、そのことで広く社会から高い評価を得ている方</p> <p>（経 f） その他上記に準ずるような実績や経験を有する方</p> <p>ただし、商業に関する学科又は総合学科（商業科目 20 単位以上）を卒業又は卒業見込みの方で、特に学業成績が優秀な方は、以下の特別推薦に出願することができます。</p>		

推薦要件	<p>○ 特別推薦（商業に関する学科又は総合学科（商業科目 20 単位以上））  （経商） 全体の評定平均値 4.3 以上，かつ次のいずれかの資格を取得している方</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日商簿記検定 2 級以上</li> <li>・ 全商簿記実務検定 1 級</li> <li>・ 基本情報技術者以上</li> <li>・ 全商情報処理検定 1 級</li> </ul> <p><b>経済システム法学科の推薦要件</b></p> <p>地域の行政，福祉，都市問題，スポーツ等の政策諸課題に積極的な関心を持ち，卒業後に例えば地域社会のリーダーなどとしてこうした諸課題に取り組むために，大学で法律，行政，政治等について勉学する意欲を持つ方で，本学部で修学するのに必要な基礎学力を有し，かつ次の（法 a）～（法 d）の一つ以上に該当する方</p> <p>（法 a） 学業成績が優秀な方（全体の評定平均値 3.8 以上）</p> <p>（法 b） スポーツその他の課外活動で都道府県レベルでの上位入賞，特別表彰等の実績がある方</p> <p>（法 c） ボランティア等の継続した地域活動での顕著で具体的な実績があり，そのことを通して地域の政策諸課題に積極的な関心を持つ方</p> <p>（法 d） その他上記に準ずるような実績や経験を有する方</p>
------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

**推薦**

**3 理学部**

**(1) 大学入試センター試験を課す推薦入試**

学科名	物理科学科																																								
募集人員	5 人																																								
出願要件	<p>次に該当する方とします。</p> <p>(1) 学校長が責任を持って推薦できる平成 26 年 3 月卒業見込みの方。</p> <p>(2) 物理科学科の教育目標に合致する学習意欲を持ち、かつ、幅広い基礎学力を有し、物理学を勉強する強い意志を持つ方</p> <p>(3) 平成 26 年度大学入試センター試験を受験する方</p> <p>(4) 合格した場合、入学を確約できる方</p>																																								
選抜方法等	<p>個別学力検査を免除し、大学入試センター試験の成績、調査書(評定平均値など)、推薦書、志望理由書及び面接の結果を総合して行います。</p> <p>&lt;大学入試センター試験で受験を要する教科・科目名等&gt;</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>教科</th> <th>科目名等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国</td> <td>国</td> </tr> <tr> <td>地歴</td> <td>世 A, 世 B, 日 A, 日 B, 地理 A, 地理 B } から 1</td> </tr> <tr> <td>公民</td> <td>現社, 倫, 政経, 倫・政経 } ※ 1</td> </tr> <tr> <td>数</td> <td>数 I・数 A</td> </tr> <tr> <td></td> <td>数 II・数 B, 工, 簿, 情報から 1</td> </tr> <tr> <td>理</td> <td>物</td> </tr> <tr> <td></td> <td>理総 A, 理総 B, 化, 生, 地学から 1</td> </tr> <tr> <td>外</td> <td>英, 独, 仏, 中, 韓から 1 ※ 2</td> </tr> <tr> <td></td> <td>[ 5 教科 7 科目 ]</td> </tr> </tbody> </table> <p>「工業数理基礎」, 「簿記・会計」及び「情報関係基礎」を選択できる方は、職業教育を主とする学科、総合学科をもつ高等学校においてこれらの科目を履修した方に限ります。</p> <p>※1 「地理歴史」及び「公民」から2科目受験した方については、第1解答科目の成績を利用します。</p> <p>※2 「外国語」のうち「英語」については、筆記及びリスニングの両方を受験している場合のみ、科目「英語」を受験していることとなります。また、「英語(リスニングを含む。)」の250点満点(素点)を200点満点に換算し、「外国語」の他の科目を受験した方と比較できるようにして利用します。ただし、重度難聴者でリスニングを免除された方については、筆記(200点満点)の得点をそのまま利用します。</p> <p>&lt;大学入試センター試験の配点&gt;</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">教科</th> <th rowspan="2">国語</th> <th rowspan="2">地歴</th> <th rowspan="2">公民</th> <th rowspan="2">数学</th> <th colspan="2">理科</th> <th rowspan="2">外国語</th> <th rowspan="2">合計</th> </tr> <tr> <th>物理</th> <th>物理以外</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>配点</td> <td>20</td> <td>*10</td> <td>*10</td> <td>20</td> <td>20</td> <td>10</td> <td>20</td> <td>100</td> </tr> </tbody> </table> <p>※配点に*印を付してある教科は、選択教科を表します。</p>	教科	科目名等	国	国	地歴	世 A, 世 B, 日 A, 日 B, 地理 A, 地理 B } から 1	公民	現社, 倫, 政経, 倫・政経 } ※ 1	数	数 I・数 A		数 II・数 B, 工, 簿, 情報から 1	理	物		理総 A, 理総 B, 化, 生, 地学から 1	外	英, 独, 仏, 中, 韓から 1 ※ 2		[ 5 教科 7 科目 ]	教科	国語	地歴	公民	数学	理科		外国語	合計	物理	物理以外	配点	20	*10	*10	20	20	10	20	100
教科	科目名等																																								
国	国																																								
地歴	世 A, 世 B, 日 A, 日 B, 地理 A, 地理 B } から 1																																								
公民	現社, 倫, 政経, 倫・政経 } ※ 1																																								
数	数 I・数 A																																								
	数 II・数 B, 工, 簿, 情報から 1																																								
理	物																																								
	理総 A, 理総 B, 化, 生, 地学から 1																																								
外	英, 独, 仏, 中, 韓から 1 ※ 2																																								
	[ 5 教科 7 科目 ]																																								
教科	国語	地歴	公民	数学	理科		外国語	合計																																	
					物理	物理以外																																			
配点	20	*10	*10	20	20	10	20	100																																	
出願期間	平成 25 年 11 月 25 日 (月) から 11 月 29 日 (金) まで																																								
選抜期日	平成 25 年 12 月 14 日 (土)																																								
合格発表日	平成 26 年 2 月 7 日 (金)																																								
入学手続期間	平成 26 年 2 月 12 日 (水) から 2 月 19 日 (水) まで																																								



## (2) 大学入試センター試験を課さない推薦入試

学 科 名	化 学 科	物 質 循 環 学 科
募 集 人 員	5 人	5 人
出 願 要 件	<p>学校長が責任を持って推薦できる平成 26 年 3 月卒業見込みの方で、以下の要件に該当し、合格した場合には入学を確約できる方とします。ただし、各高等学校からの推薦は 1 人とします。</p> <p>化学科は、構造・計測・反応・物性化学に関する教育を通して、基礎学力、基礎実験技術と問題解決能力を兼ね備えた人材の育成を目指しています。その目標を達成するために、次のような学生を求めています。</p> <p>(1) 化学に強い興味を持ち、化学の基本原理の理解に意欲的に取り組む方</p> <p>(2) 幅広く基礎学問に興味を持ち、論理的な思考のできる方</p> <p>(3) 目標に向かってねばり強く努力するとともに、それを支える精神力と忍耐力を持っている方</p>	<p>高等学校を平成 26 年 3 月に卒業見込みの方で、下記の推薦の条件を満たすものと学校長が責任を持って推薦することができ、合格した場合には入学することを確約できる方とします。ただし、各高等学校からの推薦は 1 人とします。</p> <p>物質循環学科では、自然環境に対する幅広い理解力と、探求方法を身に付けた人材を育成することを目的としています。地球環境の成り立ちを理解するには、環境を構成する物質の循環を、より正確に、しかも従来の自然科学諸分野の境界を越えて包括的に理解することが不可欠です。これが学科設立の背景でもあり、物質循環学科の推薦入試では、特に次のような資質を有する学生を求めています。</p> <p>(1) 幅広い基礎学力</p> <p>(2) 自分で考える力</p> <p>(3) バランスよく総合化できる力</p> <p>(4) 目標に向かってねばり強く努力する力と、それを支える意欲と体力</p>
選 抜 方 法 等	<p>大学入試センター試験及び個別学力検査を免除し、調査書(評定平均値など)、推薦書、志望理由書及び面接(面接の参考にするための基礎学力テストを含みます。)の結果を総合して評価・選抜します。</p>	<p>大学入試センター試験及び個別学力検査を免除し、調査書(評定平均値など)、推薦書、志望理由書及び面接の結果を総合して評価・選抜します。</p>
出 願 期 間	平成 25 年 11 月 25 日 (月) から 11 月 29 日 (金) まで	
選 抜 期 日	平成 25 年 12 月 14 日 (土)	
合 格 発 表 日	平成 26 年 1 月 8 日 (水)	
入 学 手 続 期 間	平成 26 年 1 月 9 日 (木) から 1 月 16 日 (木) まで	

4 医学部

学科 (専攻)名	医 学 科		保 健 学 科																																
	出願要件(1)	出願要件(2)	看護学専攻	検査技術科学専攻																															
募集人員	15人	5人	10人	5人																															
出 願 要 件	<p>平成 26 年度大学入試センター試験を受験し、次の(1)又は(2)に該当し、長野県の医療を支える医師となる強い意志を持ち、人物が優秀で、高等学校の学習成績概評がⒶ又はA段階に属し、学校長が責任を持って推薦できる方で、合格した場合に入学することが確約できる方とします。</p>		<p>学力・人物に優れ、次の条件を満たし、学校長が責任を持って推薦できる方とします。 ただし、各高等学校からの推薦は、各専攻につき1人とします。 (1) 平成 26 年 3 月高等学校卒業見込みの方 (2) 全体の評定平均値 4.0 以上の方 (3) 合格した場合、入学することが確約できる方</p>																																
	出願要件 (1)	出願要件 (2)																																	
選 抜 方 法 等	<p>長野県内にある高等学校を平成 26 年 3 月 31 日までに卒業見込みの方(平成 25 年 4 月以降に高等学校を卒業した方を含みます。) 各高等学校からの推薦は、原則として 4 人以内とします。 ただし、前年度入試で 4 人全員が合格した高等学校は、5 人まで推薦することができます。</p>		<p>長野県内にある高等学校を平成 24 年 4 月 1 日から平成 25 年 3 月 31 日までに卒業した方 各高等学校からの推薦は、原則として 2 人以内とします。 ただし、今年度入試で 2 人全員が合格した高等学校は、次年度 3 人まで推薦することができます。</p>																																
	<p>個別学力検査を免除し、大学入試センター試験の成績、調査書、推薦書、志願理由書及び面接の結果を総合して行います。 ただし、大学入試センター試験の成績が、本学の定める基準(合計点 900 点満点の 78%)以上であった者から合格者を決定します。 面接の評価が著しく低い場合は、不合格とすることがあります。 &lt;大学入試センター試験で受験を要する教科・科目名等&gt;</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>教科</th> <th>科目名等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国</td> <td>国</td> </tr> <tr> <td>地歴</td> <td>世 B, 日 B, 地理 B } から 1</td> </tr> <tr> <td>公民</td> <td>現社, 倫, 政経, 倫・政経 } ※1</td> </tr> <tr> <td>数</td> <td>数 I・数 A</td> </tr> <tr> <td>理</td> <td>数 II・数 B, 工, 簿, 情報から 1</td> </tr> <tr> <td>外</td> <td>物, 化, 生, 地学から 2</td> </tr> <tr> <td colspan="2">[5教科7科目]</td> </tr> </tbody> </table> <p>「工業数理基礎」, 「簿記・会計」及び「情報関係基礎」を選択できる方は、職業教育を主とする学科、総合学科をもつ高等学校においてこれらの科目を履修した方に限ります。 「英語」は、リスニングを課します。筆記(200点満点)とリスニング(50点満点)の合計得点を 200 点満点に換算します。ただし、重度難聴者でリスニングを免除された方については、筆記(200点満点)の得点をそのまま利用します。 ※1「地理歴史」及び「公民」から 2 科目受験した方については、第 1 解答科目の成績を利用します。 &lt;大学入試センター試験の配点&gt;</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>教科</th> <th>国語</th> <th>地歴</th> <th>公民</th> <th>数学</th> <th>理科</th> <th>外国語</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>配点</td> <td>200</td> <td>*100</td> <td>*100</td> <td>200</td> <td>200</td> <td>200</td> <td>900</td> </tr> </tbody> </table> <p>※配点に*印を付してある教科は、選択教科を表します。</p>		教科	科目名等	国	国	地歴	世 B, 日 B, 地理 B } から 1	公民	現社, 倫, 政経, 倫・政経 } ※1	数	数 I・数 A	理	数 II・数 B, 工, 簿, 情報から 1	外	物, 化, 生, 地学から 2	[5教科7科目]		教科	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	合計	配点	200	*100	*100	200	200	200	900	<p>大学入試センター試験及び個別学力検査を免除し、出願書類(調査書、推薦書)、面接及び小論文の結果を総合して行います。</p>
教科	科目名等																																		
国	国																																		
地歴	世 B, 日 B, 地理 B } から 1																																		
公民	現社, 倫, 政経, 倫・政経 } ※1																																		
数	数 I・数 A																																		
理	数 II・数 B, 工, 簿, 情報から 1																																		
外	物, 化, 生, 地学から 2																																		
[5教科7科目]																																			
教科	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	合計																												
配点	200	*100	*100	200	200	200	900																												
出 願 期 間	平成 25 年 12 月 2 日(月)から 12 月 6 日(金)まで		平成 25 年 11 月 1 日(金)から 11 月 7 日(木)まで																																
選 抜 期 日	平成 25 年 12 月 13 日(金)		平成 25 年 11 月 16 日(土)																																
合 格 発 表 日	平成 26 年 2 月 7 日(金)		平成 25 年 12 月 5 日(木)																																
入 学 手 続 期 間	平成 26 年 2 月 10 日(月)から 2 月 19 日(水)まで		平成 25 年 12 月 9 日(月)から 12 月 13 日(金)まで																																

5 工学部

(1) 大学入試センター試験を課さない推薦入試（推薦入試Ⅰ）

学 科 名 及 び 募 集 人 員	▼全学科対象		
	学 科 名	募集人員	対象となる高等学校の範囲
	機械システム工学科	8人	高等学校の各学科
	電気電子工学科	11人	
	土木工学科	7人	
	物質工学科	10人	
	情報工学科	25人	
	▼職業教育を主とする学科対象		
	学 科 名	募集人員	対象となる高等学校の範囲
	機械システム工学科	2人	高等学校の職業教育を主とする学科（職業専門科目を20単位以上履修させるもの）
	電気電子工学科	4人	
	土木工学科	1人	
	建築学科	1人	
物質工学科	2人		
情報工学科	5人		
環境機能工学科	1人		
出 願 要 件	<p>次の各号に該当し、学校長が責任を持って推薦できる方とします。</p> <p>(1) 高等学校を平成24年4月1日から平成26年3月31日までに、卒業した方又は卒業見込みの方</p> <p>(2) 高等学校の学業成績が優秀な方</p> <p>(3) 次のいずれかに該当する方</p> <p>① 高等学校での教科で特に誇れる良い成績の科目がある方</p> <p>② 課外活動などで特に優れた成績を修めた方</p> <p>③ 特に誇れる資格がある方</p> <p>④ その他、特筆すべき優れた活動をした方</p> <p>(4) 合格した場合に入学を確約できる方</p>		
選 抜 方 法 等	<p>大学入試センター試験及び個別学力検査を免除し、調査書（評定平均値など）、推薦書、自己申告書の内容及び面接（口述試問）の結果を総合して行います。（建築学科は、面接の参考とするためのスケッチを含みます。）</p>		
出 願 期 間	平成25年11月1日（金）から11月7日（木）まで		
選 抜 期 日	平成25年11月14日（木）		
合 格 発 表 日	平成25年11月26日（火）		
入 学 手 続 期 間	平成25年11月27日（水）から12月4日（水）まで		

(2) 大学入試センター試験を課す推薦入試（推薦入試Ⅱ）

学 科 名 及 び 募 集 人 員	▼全学科対象																		
	学 科 名	募集人員	対象となる高等学校の範囲																
	機械システム工学科	15人	高等学校の各学科																
	電気電子工学科	15人																	
	土木工学科	5人																	
	物質工学科	10人																	
	情報工学科	10人																	
	環境機能工学科	7人																	
▼スーパーサイエンスハイスクール対象																			
学 科 名	募集人員	対象となる高等学校の範囲																	
環境機能工学科	2人	スーパーサイエンスハイスクール(SSH)等の指定を受けている高等学校(都道府県が指定するSSHに準ずる(大学や研究機関と連携した理数教育及び課題研究を実施している)高等学校を含む。)																	
出 願 要 件	<p>次の各号に該当し、学校長が責任を持って推薦できる方とします。</p> <p>(1) 高等学校※を平成24年4月1日から平成26年3月31までに卒業した方又は卒業見込みの方          ※「SSH対象」で出願する場合          文部科学省のSSHの指定を受けている高等学校、又は、都道府県が指定するSSHに準ずる高等学校において、大学や研究機関と連携した理数教育及び課題研究に参画した方</p> <p>(2) 志望学科を専攻する強い意志と熱意のある方          なお、信州大学工学部の大学入試センター試験を課さない推薦入試(推薦入試Ⅰ)に不合格となった方は、同一学科を志望する場合に限り、信州大学工学部の大学入試センター試験を課す推薦入試(推薦入試Ⅱ)に出願することができます。</p> <p>(3) 合格した場合に入学を確約できる方</p> <p>(4) 平成26年度大学入試センター試験において、志望する学科が指定する教科・科目を受験する方</p>																		
選 抜 方 法 等	<p>機械システム工学科</p> <p>情報工学科</p>	<p>個別学力検査を免除し、大学入試センター試験の成績、調査書(評定平均値など)、推薦書及び志望理由書の内容を総合して行います。</p> <p>&lt;大学入試センター試験で受験を要する教科・科目名等&gt;</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>教科</th> <th>科目名等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>数</td> <td>数Ⅰ, 数Ⅰ・数Aから1 数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 工, 簿, 情報から1</td> </tr> <tr> <td>理 外</td> <td>物 ※ 英, 独, 仏, 中, 韓から1 〔3教科4科目〕</td> </tr> </tbody> </table> <p>「工業数理基礎」, 「簿記・会計」及び「情報関係基礎」を選択できる方は、職業教育を主とする学科、総合学科をもつ高等学校においてこれらの科目を履修した方に限ります。</p> <p>「英語」は、リスニングを課します。筆記(200点満点)とリスニング(50点満点)の合計得点を200点満点に換算し、「外国語」の他の科目を受験した方と比較できるようにして利用します。ただし、重度難聴者でリスニングを免除された方については、筆記(200点満点)の得点をそのまま利用します。</p> <p>※「理科」を2科目受験する場合の第1解答科目は、物理としてください。</p> <p>&lt;大学入試センター試験の配点&gt;</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>教科</th> <th>数学</th> <th>理科</th> <th>外国語</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>配点</td> <td>200</td> <td>200</td> <td>200</td> <td>600</td> </tr> </tbody> </table>		教科	科目名等	数	数Ⅰ, 数Ⅰ・数Aから1 数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 工, 簿, 情報から1	理 外	物 ※ 英, 独, 仏, 中, 韓から1 〔3教科4科目〕	教科	数学	理科	外国語	合計	配点	200	200	200	600
教科	科目名等																		
数	数Ⅰ, 数Ⅰ・数Aから1 数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 工, 簿, 情報から1																		
理 外	物 ※ 英, 独, 仏, 中, 韓から1 〔3教科4科目〕																		
教科	数学	理科	外国語	合計															
配点	200	200	200	600															

選抜方法等	電気電子工学科 土木工学科 物質工学科	<p>個別学力検査を免除し、大学入試センター試験の成績、調査書（評定平均値など）、推薦書、志望理由書の内容及び面接の結果を総合して行います。</p> <p>&lt;大学入試センター試験で受験を要する教科・科目名等&gt;</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>教科</th> <th>科目名等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>数</td> <td>数Ⅰ，数Ⅰ・数Aから1 数Ⅱ，数Ⅱ・数B，工，簿，情報から1</td> </tr> <tr> <td>理 外</td> <td>理総A，理総B，物，化，生，地学から1 ※ 英，独，仏，中，韓から1 〔3教科4科目〕</td> </tr> </tbody> </table> <p>「工業数理基礎」，「簿記・会計」及び「情報関係基礎」を選択できる方は，職業教育を主とする学科，総合学科をもつ高等学校においてこれらの科目を履修した方に限ります。</p> <p>「英語」は，リスニングを課します。筆記（200点満点）とリスニング（50点満点）の合計得点を200点満点に換算し，「外国語」の他の科目を受験した方と比較できるようにして利用します。ただし，重度難聴者でリスニングを免除された方については，筆記（200点満点）の得点をそのまま利用します。</p> <p>※「理科」を2科目受験した場合は，第1解答科目の成績を利用します。</p> <p>&lt;大学入試センター試験の配点&gt;</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>教科</th> <th>数学</th> <th>理科</th> <th>外国語</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>配点</td> <td>200</td> <td>200</td> <td>200</td> <td>600</td> </tr> </tbody> </table>	教科	科目名等	数	数Ⅰ，数Ⅰ・数Aから1 数Ⅱ，数Ⅱ・数B，工，簿，情報から1	理 外	理総A，理総B，物，化，生，地学から1 ※ 英，独，仏，中，韓から1 〔3教科4科目〕	教科	数学	理科	外国語	合計	配点	200	200	200	600									
	教科	科目名等																									
数	数Ⅰ，数Ⅰ・数Aから1 数Ⅱ，数Ⅱ・数B，工，簿，情報から1																										
理 外	理総A，理総B，物，化，生，地学から1 ※ 英，独，仏，中，韓から1 〔3教科4科目〕																										
教科	数学	理科	外国語	合計																							
配点	200	200	200	600																							
環境機能工学科	<p>個別学力検査を免除し、大学入試センター試験の成績、調査書（評定平均値など）、推薦書及び志望理由書の内容を総合して行います。</p> <p>&lt;大学入試センター試験で受験を要する教科・科目名等&gt;</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>教科</th> <th>科目名等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>数</td> <td>数Ⅰ，数Ⅰ・数Aから1 数Ⅱ，数Ⅱ・数B，工，簿，情報から1</td> </tr> <tr> <td>理 外</td> <td>理総A，理総B，物，化，生，地学から1 ※ 英，独，仏，中，韓から1 〔3教科4科目〕</td> </tr> </tbody> </table> <p>「工業数理基礎」，「簿記・会計」及び「情報関係基礎」を選択できる方は，職業教育を主とする学科，総合学科をもつ高等学校においてこれらの科目を履修した方に限ります。</p> <p>「英語」は，リスニングを課します。筆記（200点満点）とリスニング（50点満点）の合計得点を200点満点に換算し，「外国語」の他の科目を受験した方と比較できるようにして利用します。ただし，重度難聴者でリスニングを免除された方については，筆記（200点満点）の得点をそのまま利用します。</p> <p>※「理科」を2科目受験した場合は，第1解答科目の成績を利用します。</p> <p>&lt;大学入試センター試験の配点&gt;</p> <p>▼全学科対象</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>教科</th> <th>数学</th> <th>理科</th> <th>外国語</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>配点</td> <td>200</td> <td>200</td> <td>200</td> <td>600</td> </tr> </tbody> </table> <p>▼SSH対象</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>教科</th> <th>数学</th> <th>理科</th> <th>外国語</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>配点</td> <td>200</td> <td>200</td> <td>50</td> <td>450</td> </tr> </tbody> </table>	教科	科目名等	数	数Ⅰ，数Ⅰ・数Aから1 数Ⅱ，数Ⅱ・数B，工，簿，情報から1	理 外	理総A，理総B，物，化，生，地学から1 ※ 英，独，仏，中，韓から1 〔3教科4科目〕	教科	数学	理科	外国語	合計	配点	200	200	200	600	教科	数学	理科	外国語	合計	配点	200	200	50	450
教科	科目名等																										
数	数Ⅰ，数Ⅰ・数Aから1 数Ⅱ，数Ⅱ・数B，工，簿，情報から1																										
理 外	理総A，理総B，物，化，生，地学から1 ※ 英，独，仏，中，韓から1 〔3教科4科目〕																										
教科	数学	理科	外国語	合計																							
配点	200	200	200	600																							
教科	数学	理科	外国語	合計																							
配点	200	200	50	450																							
出願期間	平成25年12月13日（金）から12月20日（金）まで																										
選抜期日	平成26年1月28日（火）																										
合格発表日	平成26年2月7日（金）																										
入学手続期間	平成26年2月12日（水）から2月19日（水）まで																										

6 農学部

学 科 名	食 料 生 産 科 学 科	森 林 科 学 科	応 用 生 命 科 学 科
募 集 人 員	12 人	12 人	12 人
出 願 要 件	<p>次の各号に該当するほか、学力、人物、健康状態が優れ、かつ、志望学科に対して強い関心と学習意欲を持ち、学校長が責任を持って推薦できる方とします。</p> <p>ただし、各高等学校又は特別支援学校の高等部からの推薦枠は、食料生産科学科においては人数制限なしとし、森林科学科及び応用生命科学科においてはそれぞれ2人以内とします。</p> <p>(1) 高等学校又は特別支援学校の高等部を平成24年4月1日から平成26年3月31日までに、卒業した方又は卒業見込みの方</p> <p>(2) 全体の評定平均値が4.0以上の方</p>		
選 抜 方 法 等	<p>大学入試センター試験及び個別学力検査を免除し、小論文「理科・農業の基礎的内容(小論文の問題の一部には英文を含みます。)」及び面接(入学志願票、志望書についての質疑を含みます。)の結果を総合して判定します。</p>	<p>大学入試センター試験及び個別学力検査を免除し、小論文及び面接(入学志願票、志望書についての質疑を含みます。)の結果を総合して判定します。</p>	<p>大学入試センター試験及び個別学力検査を免除し、小論文「化学・生物の基礎的内容(小論文の問題の一部には英文を含みます。)」及び面接(入学志願票、志望書についての質疑を含みます。)の結果を総合して判定します。</p>
出 願 期 間	平成25年11月1日(金)から11月7日(木)まで		
選 抜 期 日	平成25年11月16日(土)		
合 格 発 表 日	平成25年11月26日(火)		
入 学 手 続 期 間	平成25年11月27日(水)から12月4日(水)まで		

## 7 繊維学部

系（課程）名 及び 募集人員	系（課程）名		対象となる高等学校の範囲	募集人員
		繊維・感性 工学系	先進繊維工学課程	高等学校の各学科
			高等学校の職業教育を主とする学科	1人
感性工学課程		高等学校の各学科	9人	
		高等学校の職業教育を主とする学科	1人	
機械・ロボット学系		高等学校の各学科	10人	
化学・材料系		高等学校の各学科	17人	
	高等学校の工業に関する学科	1人		
応用生物科学系	高等学校の各学科	10人		
出願要件	<p>次の(1)から(3)までの各号すべてに該当し、学校長が責任を持って推薦できる方で、合格した場合に入学することを確約できる方とします。</p> <p>(1) 高等学校を平成24年4月1日から平成26年3月31日までに、卒業した方又は卒業見込みの方</p> <p>(2) 人物及び高等学校の学習成績が優れている方</p> <p>(3) 志望する系・課程の教育目標に合致する強い学習意欲を持つとともに、幅広い基礎学力を有し、繊維学部での学修を経て社会に貢献しようとする強い意志を持つ方</p>			
選抜方法等	<p>大学入試センター試験及び個別学力検査を免除し、調査書（評定平均値など）、推薦書及び次のとおり各系が指定する試験の結果を総合して行います。</p>			
	繊維・感性 工学系	先進繊維工学課程	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小論文：科学・技術に関する課題</li> <li>・面接：大学における勉学に必要な基礎学力（数学・理科（物理又は化学を選択））についての口頭試問を含む。</li> </ul>	
		感性工学課程	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小論文：科学・技術に関する課題</li> <li>・面接：大学における勉学に必要な基礎学力（数学・理科（物理又は化学を選択））についての口頭試問を含む。</li> </ul>	
	機械・ロボット学系	<ul style="list-style-type: none"> <li>・面接の参考にするための基礎学力テスト：数学・物理の基礎的内容</li> <li>・面接（口頭試問）</li> </ul>		
	化学・材料系	<ul style="list-style-type: none"> <li>・面接の参考にするための基礎学力テスト：化学・物理・数学・英語の基礎的内容</li> <li>・面接</li> </ul>		
	応用生物科学系	<ul style="list-style-type: none"> <li>・面接の参考にするための基礎学力テスト：化学・生物・英語の基礎的内容</li> <li>・面接（口頭試問）</li> </ul>		
出願期間	平成25年11月1日（金）から11月7日（木）まで			
選抜期日	平成25年11月21日（木）			
合格発表日	平成25年11月29日（金）			
入学手続期間	平成25年12月2日（月）から12月10日（火）まで			

V 帰国子女入試

人文学部，理学部，工学部，農学部（食料生産科学科，応用生命科学科）及び繊維学部では，帰国子女のための入試を行います。

	人文学部	理学部	工学部	農学部	繊維学部
実施学部・学科等名	人文学科	数理・自然情報科学科 物理科学科 化学科 地質科学科 生物科学科 物質循環学科	機械システム工学科 電気電子工学科 土木工学科 建築学科 物質工学科 情報工学科 環境機能工学科	食料生産科学科  応用生命科学科	繊維・感性工学系 〔先進繊維工学課程〕 〔感性工学課程〕 機械・ロボット学系 化学・材料系 応用生物学系
募集人員	若干人	若干人	若干人	若干人	若干人
出願要件	<p>日本国籍を有する方，日本国の永住許可を得ている方，その他これに準ずる方であつて，外国において教育を受けた方のうち，次の(1)から(4)までのいずれかに該当する方とします。</p> <p>ただし，人文学部，理学部及び農学部については，保護者の海外勤務等の事情による方に限りします。</p> <p>(1) 外国において，学校教育における12年の課程(日本における通常の課程による学校教育の期間を含む。)を修め，そのうち外国において在住国の正規の教育制度に基づく高等学校に最終学年を含めて2学年以上継続して在学し，平成24年4月1日から平成26年3月31日までに，卒業(修了)した方又は卒業(修了)見込みの方で学習成績が優秀，かつ，志望学科を専攻する意志が強い方で，学校長の推薦を受けた方</p> <p>(2) 外国において，スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を，2012年又は2013年に取得した方で，平成26年(2014年)3月31日までに18歳に達する方</p> <p>(3) 外国において，ドイツ連邦共和国の各州で大学入学資格として認められているアビトゥア資格を2012年又は2013年に取得した方で，平成26年(2014年)3月31日までに18歳に達する方</p> <p>(4) 外国において，フランス共和国で大学入学資格として認められているバカロレア資格を2012年又は2013年に取得した方で，平成26年(2014年)3月31日までに18歳に達する方</p>				
選抜方法等	大学入試センター試験及び個別学力検査を免除し，出願書類(2012年～2013年に受験したTOEIC, TOEFL(PBT/CBT/iBT)のいずれか一つの成績認定証明書を含みます。)，小論文及び面接の結果を総合して行います。	大学入試センター試験及び個別学力検査を免除し，出願書類及び面接(面接の参考にするための基礎学力テストを含みます。の結果を総合して行います。	大学入試センター試験及び個別学力検査を免除し，出願書類及び面接(面接の参考にするための基礎学力テストを含みます。の結果を総合して行います。	大学入試センター試験を免除し，学力試験(一般入試前期日程と同一の「化I・化II」，「生I・生II」から一つ選択)及び面接(成績証明書，出願理由書についての質疑を含みます。の結果を総合して行います。なお，学力試験の成績は，一般入試の合否判定基準とは別に扱います。	大学入試センター試験及び個別学力検査を免除し，出願書類及び次のとおり各系が指定する試験の結果を総合して行います。 繊維・感性工学系…小論文(科学・技術に関する課題)，面接(大学における勉学に必要な基礎学力(数学・理科(物理又は化学を選択))についての口頭試問を含みます。) 機械・ロボット学系…面接の参考にするための基礎学力テスト(数学・物理の基礎的内容)，面接(口頭試問) 化学・材料系…面接の参考にするための基礎学力テスト(化学・物理・数学・英語の基礎的内容)，面接 応用生物学系…面接の参考にするための基礎学力テスト(化学・生物・英語の基礎的内容)，面接(口頭試問)
出願期間	平成26年 1月6日(月)から 1月10日(金)まで	平成26年 1月20日(月)から 1月24日(金)まで	平成26年 1月16日(木)から 1月23日(木)まで	平成26年 1月27日(月)から 2月5日(水)まで	平成25年 11月1日(金)から 11月7日(木)まで
選抜期日	平成26年2月6日(木)	平成26年2月21日(金)	平成26年2月13日(木)	平成26年2月25日(火)	平成25年11月21日(木)
合格発表日	平成26年2月13日(木)	平成26年3月6日(木)	平成26年2月19日(水)	平成26年3月6日(木)	平成25年11月29日(金)
入学手続期間	平成26年 3月7日(金)から 3月15日(土)まで	平成26年 3月7日(金)から 3月14日(金)まで	平成26年 2月20日(木)から 2月27日(木)まで	平成26年 3月7日(金)から 3月15日(土)まで	平成25年 12月2日(月)から 12月10日(火)まで



## VI 中国引揚者等子女入試

工学部では、中国引揚者等子女のための入試を行います。

実施学部・ 学科名	工 学 部
	機械システム工学科 電気電子工学科 土木工学科 建築学科 物質工学科 情報工学科 環境機能工学科
募集人員	若干人
出願要件	<p>日本国籍を有する方、日本国の永住許可を得ている方、その他これに準ずる方であつて、保護者が中国引揚者であり、日本国へ引揚後、原則として9年以下である方のうち、次の(1)から(7)までのいずれかに該当する方とします。</p> <p>(1) 高等学校（中等教育学校を含みます。）を卒業した方又は平成26年3月卒業見込みの方</p> <p>(2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した方又は平成26年3月これに該当する見込みの方</p> <p>(3) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した方又は平成26年（2014年）3月31日までに修了見込みの方</p> <p>(4) 前号に準ずる方で文部科学大臣の指定したもの（昭和56年文部省告示第153号）</p> <p>(5) 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限り、）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した方</p> <p>(6) 文部科学大臣の指定したもの（昭和23年文部省告示第47号）又は平成26年3月これに該当する見込みの方</p> <p>(7) 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）により文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験に合格した方（旧規程による大学入学資格検定に合格した方を含みます。）又は平成26年3月これに該当する見込みの方</p>
選抜方法等	<p>大学入試センター試験及び個別学力検査を免除し、出願書類及び面接（面接の参考にするための基礎学力テストを含みます。）の結果を総合して行います。</p>
出願期間	平成26年1月16日（木）から1月23日（木）まで
選抜期日	平成26年2月13日（木）
合格発表日	平成26年2月19日（水）
入学手続期間	平成26年2月20日（木）から2月27日（木）まで

社会人

Ⅶ 社会人入試

教育学部（生涯スポーツ課程）、医学部〔保健学科（理学療法学専攻、作業療法学専攻）〕及び工学部では、社会人のための入試を行います。

	教育学部	工学部	医学部
実施学部・学科 (コース・専攻)名	生涯スポーツ課程 (地域スポーツコース、 野外教育コース)	機械システム工学科 電気電子工学科 土木工学科 建築学科 物質工学科 情報工学科 環境機能工学科	保健学科 (理学療法学専攻、 作業療法学専攻)
募集 人員	若干人	若干人	若干人
出 願 要 件	次の(1)から(8)までのいずれかに該当する方のうち、平成26年3月31日までに23歳に達する方、かつ、社会人経験5年以上を有する方で、合格した場合入学を確約できる方とします。		次の(1)から(8)までのいずれかに該当する方のうち、平成26年3月31日までに21歳に達する方、かつ、社会人経験を有する方で、合格した場合入学を確約できる方とします。
	(1) 高等学校（中等教育学校を含みます。）を卒業した方 (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した方 (3) 外国において学校教育における12年の課程を修了した方 (4) 前号に準ずる方で文部科学大臣の指定したもの（昭和56年文部省告示第153号） (5) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した方 (6) 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限り、）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した方 (7) 文部科学大臣の指定したもの（昭和23年文部省告示第47号） (8) 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）により文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験に合格した方（旧規程による大学入学資格検定に合格した方を含みます。）		
選 抜 方 法 等	大学入試センター試験及び個別学力検査を免除し、出願書類（活動調書、志望理由書）、小論文及び面接の結果を総合して行います。	大学入試センター試験及び個別学力検査を免除し、出願書類及び面接（面接の参考にするための基礎学力テストを含みます。）の結果を総合して行います。	大学入試センター試験及び個別学力検査を免除し、出願書類（医学部志望理由書、履歴書、調査書）及び面接の結果を総合して行います。
出 願 期 間	平成25年11月1日（金）から 11月7日（木）まで	平成26年1月16日（木）から 1月23日（木）まで	平成25年9月18日（水）から 9月24日（火）まで
選 抜 期 日	平成25年11月23日（土）	平成26年2月13日（木）	平成25年10月19日（土）
合 格 発 表 日	平成25年12月5日（木）	平成26年2月19日（水）	平成25年11月7日（木）
入 学 手 続 期 間	平成25年12月6日（金）から 12月16日（月）まで	平成26年2月20日（木）から 2月27日（木）まで	平成25年11月11日（月）から 11月15日（金）まで

## VIII 私費外国人留学生入試

外国人であって、私費により本学で勉学しようとする方には、一般の入試方法とは別に特別な入試を行います。

(注) 外国人であっても、日本の高等学校を卒業した方は、一般志願者と同様の扱いになり、この入試には該当しませんので、特に注意してください。

### 1 募集人員

各学部（各学科・課程・系・コース・専攻）とも若干人  
（詳しくは4ページの「I 入学定員（募集人員）」を参照してください。）

### 2 出願要件

日本の国籍を有しない方のうち、出入国管理及び難民認定法の定めるところにより大学入学に支障のない在留資格を有する方又は取得することが可能な方であり、平成25年度日本留学試験を受験し、かつ2012年～2013年の間にTOEIC又はTOEFLを受験している方で、次の(1)から(4)までのいずれかに該当する方とします。

ただし、教育学部、工学部建築学科及び農学部森林科学科への出願については、TOEIC又はTOEFLを受験していることを要しません。

(1) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した方又は平成26年（2014年）3月31日までに修了見込みの方、及びこれらに準ずる方で文部科学大臣の指定したもの

上記12年の課程には、日本における通常の課程による学校教育の期間も含まれますが、外国において、最終学年を含めて2学年以上継続して学校教育を受けていることを必要とします。

なお、外国においてその国の学校教育制度に基づかない学校に在学した方については、その期間を、外国において学校教育を受けた期間とはみなしません。

また、「これらに準ずる方で文部科学大臣の指定したもの」に該当する方は、次のとおりです。

- ① 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者と同等以上の学力があるかどうかに関する認定試験であると認められる当該国の検定（国の検定に準ずるものを含む。）に合格した方で、平成26年（2014年）3月31日までに18歳に達する方
- ② 外国において、高等学校に対応する学校の課程を修了〔これと同等以上の学力があるかどうかに関する認定試験であると認められる当該国の検定（国の検定に準ずるものを含む。）の合格を含む。〕した後、文部科学大臣が別に定めるところにより指定した我が国の大学に入学するための準備教育を行う課程を修了した方又は修了見込みの方であり、かつ、平成26年（2014年）3月31日までに18歳に達する方

(2) スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を有する方で、平成26年（2014年）3月31日までに18歳に達する方

(3) ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を有する方で、平成26年（2014年）3月31日までに18歳に達する方

(4) フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を有する方で、平成26年（2014年）3月31日までに18歳に達する方

3 選抜方法等

大学入試センター試験を免除し、下記の結果を総合して行います。

学部・学科等名	平成 25 年度 日本留学試験							TOEIC, TOEFL	本学が実施する学力検査等				
	日本語	総合科目	数学	理 科			備考			基礎学力出題言語	成績利用		
				物理	化学	生物							
人文学部	○	○	コース自由	-	-	-		日本語	6月/11月 ※1	2012年～2013年に受験したTOEIC, TOEFL (PBT/CBT/iBT) いずれかのスコア ※2	小論文面接		
教育学部	○	○	コース自由	2科目自由選択			総合科目か理科を選択	自由選択	6月/11月 ※1	-	一般入試(前期日程)の教科・科目等面接		
経済学部	○	○	コース自由	-	-	-		自由選択	6月/11月 ※1	2012年～2013年に受験したTOEIC, TOEFL (PBT/CBT/iBT) いずれかのスコア ※2	小論文面接		
理学部	○	-	コース2	2科目自由選択			自由選択	自由選択	6月/11月 ※1	2012年～2013年に受験したTOEIC, TOEFL (PBT/CBT/iBT) いずれかのスコア ※2	面接 ※3		
				数理・自然情報科学科	○	1科目自由選択							
				物理科学科		2科目自由選択							
				化学科		2科目自由選択							
				地質科学科		1科目自由選択 ○							
				生物科学科		2科目自由選択							
物質循環学科	2科目自由選択												
医学部	○	-	コース2	2科目自由選択			日本語	日本語	11月 (合計得点が680点以上であること。)	2012年～2013年に受験したTOEIC, TOEFL (PBT/CBT/iBT) いずれかのスコア ※2 ただし、次に示す得点以上であることを要します。 ・TOEIC 700点 ・TOEFL (PBT) 540点 ・TOEFL (CBT) 200点 ・TOEFL (iBT) 72点	一般入試(前期日程)の教科・科目等		
				医学科	2科目自由選択							11月 (合計得点が595点以上であること。)	2012年～2013年に受験したTOEIC, TOEFL (PBT/CBT/iBT) いずれかのスコア ※2
工学部	○	-	コース2	2科目自由選択			自由選択	自由選択	6月/11月 ※1	2012年～2013年に受験したTOEIC, TOEFL (PBT/CBT/iBT) いずれかのスコア ※2	面接 ※3		
				機械システム工学科	2科目自由選択								
				電気電子工学科	2科目自由選択								
				土木工学科	2科目自由選択								
				物質工学科	2科目自由選択								
				情報工学科	2科目自由選択								
環境機能工学科	2科目自由選択												
農学部	○	-	コース自由	-	○	○	自由選択	自由選択	6月/11月 ※1	2012年～2013年に受験したTOEIC, TOEFL (PBT/CBT/iBT) いずれかのスコア ※2	面接		
				食料生産科学科	2科目自由選択								
				森林科学科	2科目自由選択								
応用生命科学科	2科目自由選択												
繊維学部	○	-	コース2	2科目自由選択			日本語	日本語	6月/11月 ※1	2012年～2013年に受験したTOEIC, TOEFL (PBT/CBT/iBT) いずれかのスコア ※2	面接 ※3		

- (注) 1 ○印は当該科目の受験を課すことを示します。  
 2 志望する学部・学科等が指定する「平成25年度日本留学試験」の試験科目を受験していない場合は、不合格となります。  
 3 ※1 日本留学試験の成績について、どの回のものを利用するかは、受験者本人の選択によります。利用する回の受験票のコピーを提出してください。  
 4 ※2 出願時に、2012年～2013年に受験したTOEIC又はTOEFLの成績認定証明書を提出してください。  
 5 ※3 面接の参考にするための基礎学力テストを含みます。

## 4 出願期間

人文学部	平成 26 年 1 月 6 日 (月) ~ 1 月 10 日 (金)
教育学部	平成 26 年 1 月 27 日 (月) ~ 2 月 5 日 (水)
経済学部	平成 26 年 1 月 7 日 (火) ~ 1 月 15 日 (水)
理学部	平成 26 年 1 月 20 日 (月) ~ 1 月 24 日 (金)
医学部	平成 26 年 1 月 6 日 (月) ~ 1 月 10 日 (金)
工学部	平成 26 年 1 月 16 日 (木) ~ 1 月 23 日 (木)
農学部	平成 26 年 1 月 27 日 (月) ~ 2 月 5 日 (水)
繊維学部	

## 5 選抜期日

人文学部	平成 26 年 2 月 6 日 (木)	医学部	医学科	平成 26 年 2 月 25 日 (火) ・ 26 日 (水)
教育学部	平成 26 年 2 月 25 日 (火) ・ 26 日 (水)		保健学科	平成 26 年 2 月 26 日 (水)
経済学部	平成 26 年 2 月 6 日 (木) ・ 7 日 (金)	工学部	平成 26 年 2 月 13 日 (木)	
		農学部	平成 26 年 2 月 25 日 (火)	
理学部	平成 26 年 2 月 21 日 (金)	繊維学部	平成 26 年 2 月 21 日 (金)	

## 6 合格者の発表

人文学部	平成 26 年 2 月 13 日 (木)	医学部	平成 26 年 3 月 6 日 (木)
教育学部	平成 26 年 3 月 6 日 (木)	工学部	平成 26 年 2 月 19 日 (水)
経済学部	平成 26 年 2 月 12 日 (水)	農学部	平成 26 年 3 月 6 日 (木)
理学部	平成 26 年 3 月 6 日 (木)	繊維学部	

## 7 入学手続期間

人文学部	平成 26 年 3 月 7 日 (金) ~ 3 月 15 日 (土)	医学部	平成 26 年 3 月 7 日 (金) ~ 3 月 15 日 (土)
教育学部		工学部	平成 26 年 2 月 20 日 (木) ~ 2 月 27 日 (木)
経済学部	平成 26 年 2 月 13 日 (木) ~ 2 月 28 日 (金)	農学部	平成 26 年 3 月 7 日 (金) ~ 3 月 15 日 (土)
理学部	平成 26 年 3 月 7 日 (金) ~ 3 月 14 日 (金)	繊維学部	

## 8 日本留学試験に関する問い合わせ先

独立行政法人 日本学生支援機構 (留学生事業部留学試験課)  
 〒153-8503 東京都目黒区駒場 4-5-29 TEL 03-6407-7457  
 ホームページ : <http://www.jasso.go.jp/>

## Ⅷ アドミッション・ポリシー

### 1 信州大学アドミッション・ポリシー

#### (1) 求める学生像

信州の悠久の歴史と文化、豊かな自然環境のもと、地域に根ざし世界に開かれた信州大学は、真理への探究心とチャレンジ精神を培い、高度な専門知識と深い思索力を基にして、課題を探求し解決する能力を備えた人材を育成します。

また、豊かな人間性と広い視野をもち、身につけた知識や技術を人類文化と社会の持続的発展に役立て、世界の平和と自然環境の保全のために活かすことのできる、意欲あふれる若者を育てます。

信州大学は、このような教育の理念・目標を実現するために、以下のような資質を備えた人たちを積極的に受け入れます。

- ・ 人間と自然を愛し、人との出会いを通じて学び合おうとする人
- ・ 知的好奇心が旺盛で、課題に向かって主体的に行動できる人
- ・ 多様性を理解し受け入れ、独自性を大切にすること
- ・ 社会・環境・国際問題に関心をもち、世界に貢献したいと考える人

#### (2) 入学者選抜の基本方針

信州大学の教育の理念・目標に則り、各学部の特性に応じた適切な方法で多様な入試を実施し、大学教育を受けるにふさわしい能力・適性等を多面的・総合的かつ公正に評価し、選抜します。

### 2 各学部のアドミッション・ポリシー

#### (1) 人文学部 (<http://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/arts/>)

##### 理 念

信州の大自然の織りなす四季のもと、都会の喧噪とほどよく距離をたもちつつ、時代や人間を見る確かな目と、他者や自然と共生できる豊かな感性をはぐくむ教育を行います。複雑多様化し混迷する現代社会のあらゆる局面で、不断に根源的な思索を試み、それらに批判的・創造的にかかわっていくことのできる「実践知」を身につけた、新しい時代の人文人（ネオ・フマニスト）を育成します。

##### 教育目標

人文学部では「実践知」を、その教育目標に掲げています。「実践知」とは、知を運用する力、機動する知であり、現実の社会に働きかける、のびやかで生き生きとした知の力を指します。

具体的には、以下のさまざまな力などをまとめ、一言で表した言葉が「実践知」です。

##### ◎心と思考の実践知

- ・ 自明とされる事柄に対し、深くその根拠を問い直し新たな認識を構築できる思索力
- ・ 変容する社会を冷静に分析し、時流に迎合することなく価値判断できる批判力
- ・ 過去の英知の批判的継承のうえに立って創造的な未来を切り拓く開拓力
- ・ 異質・多様なものを理解し、寛容かつ多元的に判断することができる受容力

##### ◎技と行動の実践知

- ・ 情報を適切に集約・分析・表現できる高度なメディアリテラシー
- ・ 他者の考えを明晰に理解し、自己の主張を的確に表現できる高度なコミュニケーションリテラシー
- ・ グローバル社会において、多様な文化を理解し、自らの文化を発信できる外国語能力
- ・ 領域横断的な事柄に対する問題解決能力および独創的な企画構想能力

##### 求める学生像

人文学部は、教育目標「実践知」を習得するために必要な素養を備えた、次のような人たちを積極的に受け入れます。

- ・ 人間、社会、歴史、文化、言語、文学、情報、芸術などに興味や関心を抱く人
- ・ それらを探究し表現することに喜びを感じる人

##### 大学入学までに身につけておくべき教科・科目

人文学部が行う入学者選抜試験は、受験者が上記「求める学生像」の観点を満たす人であるかどうかをはかるものです。前期日程では、大学入試センター試験で得意な3教科3科目（又は4科目）

を選び受験することを可能にしつつ、個別学力検査では特定の教科・科目に限定されない「総合問題」を課しています。また、後期日程では、大学入試センター試験で5教科（又は6教科）7科目を課し、総合的な基礎学力を問いつつ、個別学力検査では特に読解力や表現力等を問う「小論文」を課しています。

従って、前期日程・後期日程とも、特定の教科・科目に偏ることなく、高校までに学習するすべての教科と科目についての基礎知識を習得しておくことが必要です。

## (2) 教育学部 (<http://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/education/>)

### 理 念

教育学部は、信州の恵まれた自然環境と教育を尊重する県民の気風や風土の中で、豊かな人間性と専門的知識及び実践に培う基礎的能力を身につけた、明日の教育を担う人材を育成します。

このため、附属学校園との一体化はもとより、教育委員会や諸学校との連携を深め、地域や家庭との協力のもと実践的な知の体系としての「臨床の知」の理念を核にした教育をめざします。

### 教育目標

教員養成の伝統と実績を踏まえ、「臨床の知」の理念のもとに、高度な専門知識と実践的な教育技術を身につけ、豊かな教養と創造性に溢れた教育者を育成します。

### 求める学生像

信州大学教育学部は、学部の基本理念や教育目標に基づき、次のような力を備えた学生を求めています。

- 1) 明日の教育を担う専門的知識や教養を身につけるために十分な基礎的学力
- 2) 豊かな人間性や実践的指導力を養うために不可欠なコミュニケーション能力
- 3) 教育者として社会の発展に寄与しようとする強い意志と教育への強い関心
- 4) 他者との協調性と他者への思いやりの心

### 大学入学時までに身につけておくべき教科・科目等の内容

特に義務教育機関の教員は、各教科に対する得手、不得手を超えて、各教科にわたる広い教養と学力を身につけていることが求められています。このため、教育学部では、高等学校において、教科の学習を通して、次のような学力を身につけておくことを望みます。

教 科	身につけておくべき内容
国 語	国語を的確に理解し、国語で効果的に伝え合うための思考力・判断力・表現力 また、現代文、古文、漢文における確かな知識・理解
地理歴史	各科目における基礎的な知識及び多面的・多角的な見方や考え方
公 民	
数 学	基礎的な知識と技能、及び基本的な数学的思考方法 特に数学及び理科の教員免許取得希望者については、「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅲ」、「数学A」、「数学B」、「数学C」の個々の項目の内容の理解
理 科	各科目における基礎的な知識 特に理科の教員免許取得希望者については、「物理Ⅰ及びⅡ」、「化学Ⅰ及びⅡ」、「生物Ⅰ及びⅡ」、「地学Ⅰ及びⅡ」から2科目以上の修得・個々の項目の内容の理解
外 国 語	目的に応じて情報や考えなどを正確に理解したり表現したりする英語によるコミュニケーション能力
情 報	情報処理における基礎的な知識と技能
家 庭	家庭生活全般に関する基礎的な知識と技能
音 楽	基礎的な音楽的表現力 特に音楽の教員免許取得希望者については、読譜力及び聴音能力
美 術	基礎的な造形能力及び想像力、構想力、創造力、鑑賞力
保健体育	体育やスポーツに対する意欲、基本的な運動能力 特に保健体育の教員免許取得希望者・スポーツ指導者を目指す学生においては、多様なスポーツを経験するための運動技能と基礎的体力

### (3) 経済学部 (<http://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/economics/>)

#### 理 念

信州大学経済学部は、「大学から社会へ、社会から大学へ」をキーコンセプトにした研究教育を実践しています。このコンセプトの下、社会・地域・海外とのネットワークを形成し、現代日本の経済・社会の解明を焦点とする専門研究と教育を実践しています。また、異分野との協力体制を積極的に推し進めることで、現代社会が抱える先端的課題に、積極的かつ主体的に取り組んでいます。

#### 教育目標

- 1) 信州大学経済学部は、社会諸科学の専門教育を踏まえ、激変する現代社会環境の中で、時代に流されず、主体的にその変化に対応出来る能力を持った個人、とりわけビジネスリーダー等、経済社会の構造変化を見据えた問題発見・解決型の実践的な企業人・組織人の育成を目指します。

そのために、以下の内容の教育を行います。

- ① 情報収集・発信リテラシー、コミュニケーション能力を基盤とする基礎的職業能力の育成
  - ② 企業人・社会人として必要な実践的能力の育成
  - ③ 時代を観る目の涵養
  - ④ 職業的倫理観と市民的公共観の涵養
- 2) 信州大学経済学部は、企業人講師等による講義、ビジネス・インターンシップ、ボランティア実習等、様々な「大学から社会へ、社会から大学へ」をキーコンセプトとした教育実践を更に発展させます。
  - 3) 信州大学経済学部は、自発的自立的学習を支援し、少人数教育を中心とする相互交流型の教育を実践します。
  - 4) 信州大学経済学部は、既に仕事を持つ社会人に対して、自らの職業能力の高度化を図るためのインタラクティブな教育研究支援を行い、高度職業人を養成します。
  - 5) 信州大学経済学部は、高度専門教育と教育実践から得られた成果を広く地域・社会に還元すべく、生涯教育に対する教育体制を強化します。

#### 求める学生像

信州大学経済学部は、学部の基本理念・教育目標に基づき、次のような意欲を持った学生諸君を求めています。

- 1) 経済と社会のあり方や、それが直面する諸問題に幅広い関心を抱き、ものごとの本質をとらえようとする意欲をもつ人
- 2) たゆまぬ探究心をもって知性を磨き、かたよらない視点から問題解決をめざす意欲をもつ人
- 3) 自分の考えを練り上げ、明晰な表現を通じ説得する能力を身につけようとする意欲をもつ人
- 4) 他者への思いやりと社会における公正を大切に、自立した社会人として職業を通じ社会に貢献しようとする強い意志をもつ人

#### 大学入学までに身につけておくべき教科・科目

資料を読み解き、考えを表現するとともに他者との円滑なコミュニケーションを図るために、一定の読書量を通して国語の能力を十分身につけておくことが必要です。

同様な意味で、国内にとどまらない活動のために、英語の能力も必要とされます。

数学は、社会科学の諸現象の数理的解析のために必要です。また、法学も含めた論理的思考の基礎ともなる科目ですので、基本的な内容とその応用力を身につけてください。

また、新聞・ニュース報道等を通じて、経済学部が対象としている社会の諸問題に関心を持つとともに、これらを探究するための基礎としての科目、例えば地理歴史・公民なども学んで入学することを希望します。

### (4) 理学部 (<http://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/science/>)

#### 理 念

理学部は知的好奇心探求の場です。

その基本理念は、自然界の多種多様な現象を詳細に検討し、その中に存在する法則性を探求することにあります。

信州大学理学部では、この理学の基本理念と信州大学の理念に基づいて、

- ・ 信州の豊かな自然、その歴史と文化、人々の営みを大切にします。
- ・ 知的資産と活動を通じて、自然環境の保全、人々の福祉向上、産業の育成に役立っています。
- ・ 世界の多様な自然、文化、思想を理解し、受け入れ、共に生きる若者を育てます。
- ・ 個性を大切にすると共に、専門分野を越えた広い視野と、柔軟な適応性を養います。
- ・ 研究の成果を人々の幸福に役立て、自然の尊厳を傷つけるために使うことのないよう責任を持ちます。



## 教育目標

自然界の多種多様な現象に常に知的好奇心と探究心を抱く人材を育てます。

それぞれの専門分野についての深い知識を有するとともに、専門分野を越えた課題にも柔軟に対処できる、広い視野と適応性を兼ね備えた、社会に役立つ人材を育てます。

信州の優れた自然を体験的に教材として利用し、自然と調和の取れた科学の発展に貢献できる後継者の育成に努めます。

## 求める学生像

- ・ 自らの目標を定め、積極的に学ぼうと努力する人
- ・ 自然を愛し、自然との共生を実践しようとする人
- ・ 自然界の多種多様な現象に対する知的好奇心や探究心が旺盛な人
- ・ 専門分野を越えた広くかつ長期的な視野で、人類社会に貢献したいと考える人
- ・ 大学入学前の高等学校の課程等を能動的に幅広く学び、国語、外国語、数学、理科、地理歴史、公民で学習したことを身に付けている人

学 科	十分な学習が望まれる教科・科目等
数理・自然情報科学科	数学（Ⅲ，Cまで）
物 理 科 学 科	物理，数学（Ⅲ，Cまで）
化 学 科	化学，物理，数学（Ⅲ，Cまで）
地 質 科 学 科	理科（物理，化学，生物，地学など）から2科目以上
生 物 科 学 科	生物
物 質 循 環 学 科	理科（物理，化学，生物，地学）から2科目以上

## (5) 医学部 (<http://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/medicine/>)

### 理 念

豊かな人間性、広い学問的視野と課題探求能力を身につけた臨床医、医療技術者や医学研究者などを育成するとともに、高度で個性的な医科学研究を行います。医科学の教育・研究と医療活動を発展させることによって地域貢献を果たし、国際交流に寄与します。

### 教育目標

- 1) 医に携わる者としての基本的な知識・技能・態度を修得させる。
- 2) 医学的問題点の把握と自発的に解決する能力を培う。
- 3) 豊かな人間性と医に携わる者としての倫理観を育てる。
- 4) 幅広い教養教育を通して、人間としての教養をたかめる。
- 5) 国際交流ができる外国語能力を育成する。

### 医学科の求める学生像

医学科ではこんな人を求めています。

- 1) 医師となる明確な目的意識を持っていること
- 2) 医学を学んでゆくにあたって必要な基礎学力があること
- 3) 医師となるのにふさわしい協調性、決断力、積極性を持っていること
- 4) 病める人を救う情熱、思いやりと奉仕の心、倫理観を持っていること
- 5) 将来の人類のために創造的な医学研究を志向する探求心を持っていること

上記を満たすために、高等学校では以下の科目を身につけていることが望まれます。

- ① 数学：数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学Ⅲ，数学A，数学B，数学Cについての十分な知識・技能と数学的思考法
- ② 理科：物理，化学，生物，地学についての基礎的知識と科学的な思考力
- ③ 地理歴史，公民：世界史B，日本史B，地理B，現代社会，倫理，政治経済についての基礎的知識と社会的素養
- ④ 国語：十分な読解力，思考力，表現力
- ⑤ 英語：十分な読解力，表現力，会話能力
- ⑥ 特別活動及び課外活動を通じた自主的，協調的な態度や思いやりと奉仕の心

### 保健学科の求める学生像

保健学科は専門性の異なる看護学専攻，検査技術科学専攻，理学療法学専攻，作業療法学専攻で構成されています。保健・医療においては専門性を追求するだけでなく、刻々と変化していく社会情勢や科学に対応し、様々な職種間の連携をとることが必要です。

このため、保健学科は、次のような資質を備えた学生を強く望んでいます。

- 1) “人”に深い関心と思いやりを持ちうる人
- 2) 絶え間なく進歩する科学を理解・適用していくための基礎学力と論理的能力のある人
- 3) 社会に対し積極的に関わり、専門職としての役割を果たそうとする意欲のある人

## 保健学科に入学するまでに学んでほしいこと

保健・医療・福祉領域における医療職者の役割は、拡大し、多様化してきました。医療職者には、人間の命の尊さを真摯に理解し、人を思いやる心を持ち、幅広い基礎知識と応用力、たゆみない探究心により、社会に対しても積極的に関わり役割を果たそうとする意欲を持つことが求められます。このため、保健学科に入学するまでに高等学校等において次のようなことを身につけていることが望まれます。

- 1) 国語・英語に関しては、基礎的な読解力・表現力・コミュニケーション能力・論理的思考力
- 2) 数学に関しては、「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学A」、「数学B」の知識と論理的思考方法
- 3) 理科に関しては、「物理」、「化学」、「生物」の基礎的な知識と科学的に探究する姿勢
- 4) 地理歴史・公民に関しては、刻々と変化していく社会情勢に対応していくための基礎知識と応用力
- 5) 特別活動及び課外活動等を通じた自主的、協調的な態度や思いやりと奉仕の心

## (6) 工学部 (<http://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/engineering/>)

### 理 念

本学部は、恵まれた自然環境の中で個性を生かし、基礎的学力の素養のもとに工学の幅広い専門的知識を有する創造性豊かな人材を養成します。

また、工学技術と環境保全との調和に深く関心を持って人類社会に貢献し、高度情報化社会における学際的技術の研究開発や国際化に対応できる人材を育成します。

### 教育目標

本学部は、基礎学力の向上を重視しつつ専門並びに学際分野の知識の修得を基盤にし、創造力の育成と課題探求能力および工学的問題解決能力を開発する教育を行います。さらに、自らの思考・判断を説明するためのプレゼンテーション能力を有し、専門基礎知識に基づいた発展的な議論を展開できる能力を育成します。また、地球環境保全などに対する技術者倫理をそなえ、国際的視野に立ってさまざまな分野で貢献できるための行動力や自立心を有する人材を養成します。

### 求める学生像

- 1) 向上心があり、自ら考え行動することができる人
- 2) 数学、物理学、化学、語学などの基礎を身につけている人
- 3) 科学や技術に関わるさまざまな現象に興味があり、それらの原理や応用について関心を持っている人
- 4) 高度な科学や技術の発展に興味をもち、それを学びたいと考えている人
- 5) 実験や実習、講義、さらには研究に積極的に参加して行動できる人
- 6) 将来、工学に関わる技術者、研究者として社会をリードするとともに、その技術と知識をもって社会に貢献する意欲を持つ人
- 7) 科学技術・工学の発展が社会にもたらす影響について十分に考え、社会および自然環境に配慮した「人にやさしいものづくり」を目指す人

### [大学入学までに履修すべき教科・科目]

各高等学校が定める教育課程表に従い、すべての教科・科目について、大学入学後の勉学に支障をきたさない程度に履修していることが望まれます。特に、工学部での授業内容を理解するために不可欠な教科である数学、理科、英語に関しては、下記の科目の内容を理解していることが望まれます。

数学：数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学Ⅲ，数学A，数学B，数学C

理科：物理Ⅰ，物理Ⅱ，化学Ⅰ，化学Ⅱ

英語：英語Ⅰ，英語Ⅱ，オーラルコミュニケーション，リーディング，ライティング

※上記科目を履修していない場合には、入学時までに科目の内容を理解していることが望まれます。

## (7) 農学部 (<http://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/agriculture/>)

### 理 念

自然豊かな環境のもとで、豊かな人間性と幅広い教養を築き、農学に関する広い知識・技術を涵養して、専門的な知識や研究能力を養成します。さらに、地球的な広い視野と現実的な視点に立つて問題をとらえ解決する能力を持つ人材を育成します。

### 教育目標

- 1) 持続的社会的創造に貢献する人間性豊かな人材の育成

- 2) 社会の一員としての問題意識の醸成と実践性、倫理性、国際性を備えた人材の育成
- 3) 農学分野の基礎能力と応用能力を持つ人材の養成
- 4) フィールド研究と実験研究が連携する教育の実践

#### 求める学生像

自然と人が共生する持続的社会的創造を目指す人を求めています。食料生産、持続的農林業、森林と田園環境の保全、生命現象、食と健康に関わる課題探求に意欲的に取り組み、「食と緑」の科学を展開して社会に貢献する熱意ある人を歓迎します。

※ 食料生産科学科及び応用生命科学科については、入学前に化学及び生物を十分に学習しておくことが望まれます。

森林科学科については、入学前に数学Ⅱを十分に学習しておくことが望まれます。また、入学後の学修・研究の目標設定のため、理科及び地理歴史・公民について総合的に学習しておくことが望まれます。

### (8) 繊維学部 (<http://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/textiles/>)

#### 理念

豊かな自然に抱かれた本学部は、衣・食・住の要である“繊維”に根ざした伝統的な科学技術を背景として、学際的先端科学技術のさらなる展開を図り、21世紀における文化創造科学技術を開拓します。さらに、優れた人格と国際性を有し、未来を創造しうる、広い視野と高い能力を持つ技術者、高度専門職業人、研究者を養成します。そして、地球環境と共生し、人類社会の発展と平和、福祉の向上に資することを理念とします。

#### 教育目標

- 1) 優れた人格の形成
  - 豊かな人間性 ●社会に対する貢献と責任意識 ●高い倫理観
- 2) 進展する科学技術と社会の変化に対応しうる能力、未来創造能力
  - 課題設定・探求能力 ●普遍的基礎学力 ●学際・業際領域を開く創造的能力
  - 自己啓発能力 ●チャレンジ精神・起業家精神（ベンチャー精神）
- 3) 基礎学力に裏付けされた専門性
  - 専門的能力 ●実践的能力 ●経営・企画等能力（マネジメント能力）
- 4) 国際性
  - 自国文化・異文化理解力 ●外国語能力と個性豊かな表現力
- 5) 情報処理能力

以上を涵養し、技術者、将来の研究者として十分な基礎的素養を身につけ、総合的視野と高い能力を備えた人材を養成します。

#### 求める学生像

繊維学部では次のような学生を求めます。

- 1) 高い志を持ち、現代の多様な学問分野を融合した学際領域的な科学技術を学ぶことに強い関心を持つ学生
- 2) 明確な目的意識と強い勉学意欲を持ち、進化する科学技術に対応するように、より高い専門的・実践的能力を得ることを目指していく学生
- 3) 地域社会や国際社会に貢献するために必要な、豊かな教養と人間性を高めようとする意欲を持った学生

#### 大学入学までに身につけておくべき教科・科目

各高等学校が定める教育課程表に従い、国語、外国語、数学、理科、地理歴史、公民等、すべての教科・科目について、大学入学後の勉学に支障をきたさない程度に履修していることが望まれます。特に、繊維学部での授業内容を理解するために不可欠な教科である数学及び理科に関しては、下記の科目の内容を理解していることが望まれます。

##### ・普通科の場合

数学：数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B、数学C

理科：繊維・感性工学系 … 物理Ⅰ、物理Ⅱ、化学Ⅰ、化学Ⅱ

機械・ロボット学系 … 物理Ⅰ、物理Ⅱ

化学・材料系 … 物理Ⅰ、物理Ⅱ、化学Ⅰ、化学Ⅱ

応用生物科学系 … 生物Ⅰ、生物Ⅱ、化学Ⅰ、化学Ⅱ

##### ・普通科以外の場合

各高等学校の教育課程表に従い、履修可能な数学及び理科に関するできるだけ多くの科目

## X 平成25年度オープンキャンパス開催一覧

学部	開催日	実施内容	受付時間	会場
人文学部	8月13日(火)	学部説明, 入試説明, 教員・在学生との交流・質問会, 構内ツアー(予定)	午前の部: 9:30~10:00 午後の部: 13:00~14:00 (予定)	経済学部棟2階 第2講義室
教育学部	7月20日(土)	学部説明, 課程・コース説明, なんでも相談室等 ※実施内容についての詳細はホームページで発表します。	10:00~ 12:00~	教育学部各校舎
経済学部	8月11日(日)	午前の部 10:00~12:30 午後の部 14:00~16:30 学部紹介, 入試・就職説明, 模擬授業及び個別質問コーナー ※午前, 午後とも同じ内容です。	午前の部 9:30~10:00 午後の部 13:30~14:00	経済学部 講義棟
理学部	8月7日(水) 午前1回 午後1回  8月8日(木) 午後1回	・理学部全体説明 (入試概要含む。)  ・各学科に分かれて模擬講義, 実験室等見学, 在学生との交流	午前 9:30~10:30  午後 13:00~14:00	理学部C棟大会議室 講義棟等
医学部 医学科	7月21日(日)	長野県内高校生対象講演 ・医学部医学科受験全般について ・英語模擬講義		医学部附属病院 外来棟4階 大会議室
	7月28日(日)	・カリキュラム説明 ・医学生パネルディスカッション ・サークル紹介 ・ミニ講義 ・見学ツアー ※内容は変更の可能性があります。	9:30~10:20	旭総合研究棟9階 講義室A・B他
医学部 保健学科	7月20日(土)	第1グループ 10:30~14:30 第2グループ 13:00~16:00 各専攻紹介, 模擬ミニ講義, 入試資料配付, 学生食堂体験など 第1・第2グループとも同じ内容です。	第1グループ 10:00~10:30 第2グループ 12:30~13:00	旭総合研究棟9階 講義室A・B・C, 保健学科各専攻実習室ほか
工学部	7月27日(土)	・学部紹介 ・研究室見学 ・入試説明会 ・進学相談 他	8:30~16:30 【入退場自由】	工学部キャンパス (長野市)
	10月26日(土) (光芒祭と同時開催)	・学部紹介 ・学科研究紹介 ・見学ツアー ・進学相談 他	9:30~16:00 【入退場自由】	
農学部	8月3日(土)	・学部紹介と学科紹介 (午前と午後の2回, 同内容で行います。) ・体験講義・実習 ・研究紹介 ・入試概要説明等	9:00~13:30	農学部 総合実験実習棟, 講義棟, AFC(構内農場・演習林)
繊維学部	7月28日(日)	・学部・系・課程紹介 ・系別研究紹介ツアー ・保護者向け説明会 ・保護者向け研究現場体験ツアー  その他, 何でも相談コーナー, 信大生に聞いてみよう会 等	9:00~10:00	繊維学部
	10月20日(日)	・学部・系・課程紹介 ・保護者向け説明会 ・系別研究体験ツアー  その他, 何でも相談コーナー, 信大生に聞いてみよう会 等 ※東雲祭(大学祭同日開催)	9:00~10:00	



申込期間	申込方法	申込み・問い合わせ先
7月1日(月)～8月2日(金)	信州大学ホームページのオープンキャンパス申込みページから、入力画面に従って申込みを行ってください。 ※会場の都合上、午前の部・午後の部ともに定員300名になり次第、締め切らせていただきます。	・申込先 オープンキャンパス申込みページ ・問い合わせ先 信州大学人文学部学務係 〒390-8621 松本市旭3-1-1 TEL 0263-37-3458
7月8日(月)～7月18日(木)	信州大学ホームページのオープンキャンパス申込みページから申し込んでください。	・申込先 オープンキャンパス申込みページ ・問い合わせ先 信州大学教育学部学務グループ 〒380-8544 長野市西長野6の口 TEL 026-238-4044
7月1日(月)～8月5日(月)	信州大学ホームページのオープンキャンパス申込みページから申し込んでください。	・申込先 オープンキャンパス申込みページ ・問い合わせ先 信州大学経済学部学務グループ 〒390-8621 松本市旭3-1-1 TEL 0263-37-3312
7月1日(月)～7月19日(金)	申込期間内に、「オープンキャンパス申込みページ」から、理学部オープンキャンパスを選択し、学校名、学年、参加者氏名、見学希望日等、同伴者の有無、見学希望学科等必要な情報を入力し、申込みをお願いします。 ※会場の都合上、各回とも、定員200名になり次第、締め切らせていただきます。(先着順)	・申込先 オープンキャンパス申込みページ ・問い合わせ先 信州大学理学部総務グループ(庶務) 〒390-8621 松本市旭3-1-1 TEL 0263-37-3142 E-mail r_open@shinshu-u.ac.jp
	県内高校生は、進路指導室を通して申し込んでください。 県外の方は、地域医療推進学講座ホームページより申し込んでください。	・申込先 各高校の進路相談室 ・問い合わせ先 信州大学地域医療推進学講座 〒390-8621 松本市旭3-1-1 TEL 0263-37-2548
7月8日(月)～7月12日(金)	信州大学ホームページのオープンキャンパス申込みページから申し込んでください。 ※定員300名になり次第締め切り	・申込先 オープンキャンパス申込みページ ・問い合わせ先 信州大学医学部学務グループ(学務第1係) 〒390-8621 松本市旭3-1-1 TEL 0263-37-2580
7月1日(月)～7月5日(金)	信州大学ホームページのオープンキャンパス申込みページから申し込んでください。 ※会場の都合上、各回とも、定員200名になり次第、締め切らせていただきます。(先着順)	・申込先 オープンキャンパス申込みページ ・問い合わせ先 信州大学医学部学務グループ(学務第2係) 〒390-8621 松本市旭3-1-1 TEL 0263-37-2357
なし【事前申込不要】	【事前申込不要】 当日直接会場へお越しください。受付で見学希望学科等をお聞きます。 (詳細プログラムは後日ホームページに掲載予定)	・申込先 事前申込は不要です。 ・問い合わせ先 信州大学工学部広報室(学務係内) 〒380-8553 長野市若里4-17-1 TEL 026-269-5599
7月6日(土)～7月28日(日)	信州大学農学部ホームページ(申込専用Webページ)またはFAXで申し込んでください。	・申込先 オープンキャンパス申込みページ FAXの場合 信州大学農学部学務グループ FAX 0265-77-1313 ・問い合わせ先 信州大学農学部学務グループ 〒399-4598 上伊那郡南箕輪村8304 TEL 0265-77-1310 FAX 0265-77-1313
6月17日(月)～7月12日(金)		・申込先 オープンキャンパス申込みページ ・問い合わせ先 信州大学繊維学部学務グループ 〒386-8567 上田市常田3-15-1 TEL 0268-21-5310 E-mail tex_koho@shinshu-u.ac.jp
9月9日(月)～10月4日(金)	信州大学ホームページのオープンキャンパス申込みページから申し込んでください。	

# 所在図・交通案内

## ●長野(教育)キャンパス 教育学部

JR長野駅善光寺口を出てアルピコバス1番のりばから“善光寺・西条経由若槻東条行”“善光寺・若槻団地経由若槻東条行”“善光寺経由宇木行”のいずれかに乗車(10分)、「大門南」下車、徒歩5分。

## ●長野(工学)キャンパス 工学部

- ・ JR長野駅東口から徒歩約20分。
- ・ JR長野駅東口を出て長野電鉄バス1番のりばから“日赤・水野美術館・アークス行”乗車(5分)、「信大工学部」下車、正門まで徒歩2分。
- ・ JR長野駅善光寺口を出てアルピコバス2番のりばから“日赤経由大塚南行”乗車(8分)、「信大工学部前」下車、正門まで徒歩5分。

## ●上田キャンパス 繊維学部

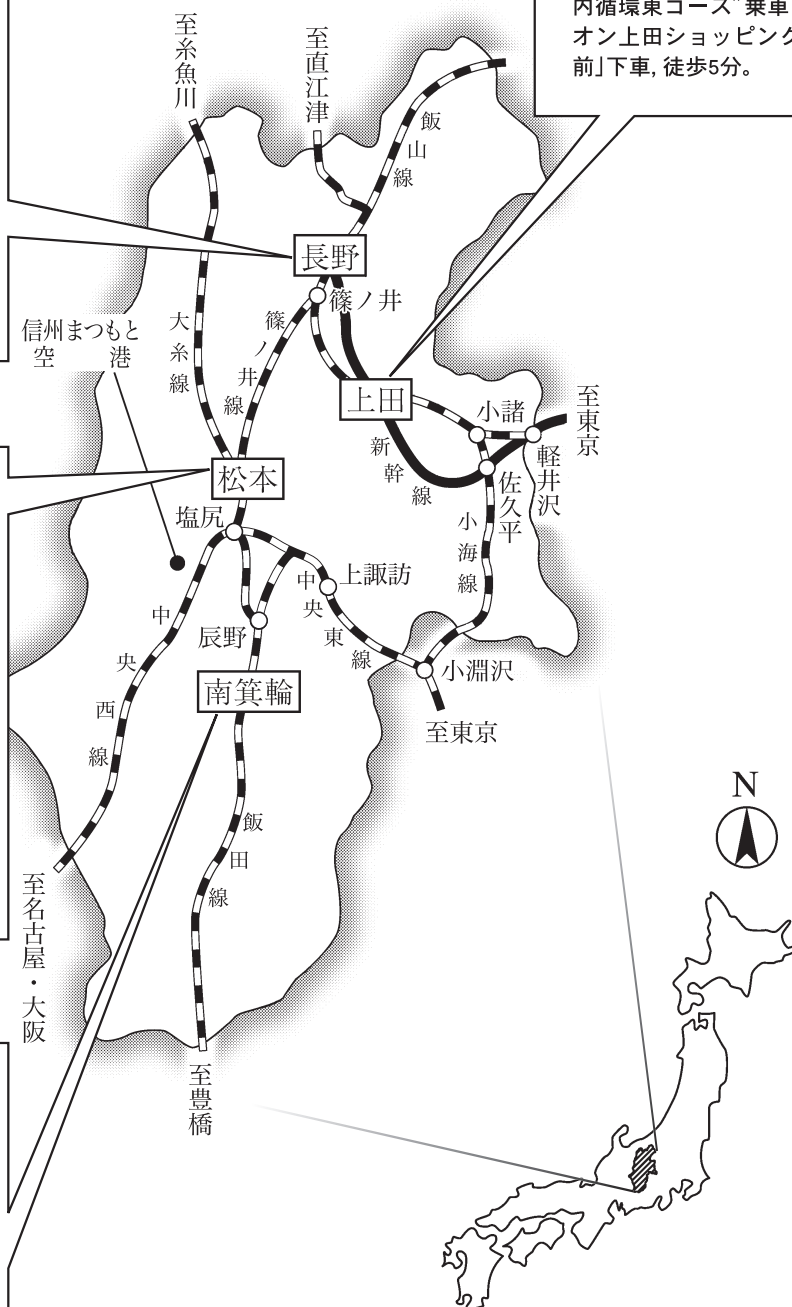
- ・ JR・しなの鉄道上田駅お城口から徒歩20分。又はタクシーで5分。
- ・ JR・しなの鉄道上田駅お城口を出て、1番のりばから千曲バス“鹿教湯行”“武石行”のいずれかに乗車(5分)、「昭栄前」下車、徒歩5分。
- ・ JR・しなの鉄道上田駅お城口を出て4番のりばから上田バス“市内循環東コース”乗車(5分)、「イオン上田ショッピングセンター前」下車、徒歩5分。

## ●松本キャンパス 人文学部 経済学部 理学部 医学部

JR松本駅お城口(東口)を出て右前方アリオ1階松本バスターミナルのりば1の“信大横田循環線”又は“浅間線”に乗車(15分)、理学部及び医学部へは「信州大学前」で、人文学部及び経済学部へは「大学西門」でそれぞれ下車、徒歩約2分。

## ●南箕輪キャンパス 農学部

- ・ 中央道高速バス「中央道伊那インター」、「伊那インター前」下車、徒歩15分。
- ・ JR飯田線伊那市駅下車、伊那バスターミナル「伊那営業所」から西箕輪線乗車(17分)、「大学入口」下車、徒歩5分。路線バスは本数が少ないので、注意してください。



■ この要項に関する問い合わせ先

人文学部入試事務室	〒390-8621 松本市旭 3-1-1	TEL (0263) 37-3458
経済学部入試事務室	〃	TEL (0263) 37-3312
理学部入試事務室	〃	TEL (0263) 37-2439
医学部医学科入試事務室	〃	TEL (0263) 37-2580
医学部保健学科入試事務室	〃	TEL (0263) 37-2357
教育学部入試事務室	〒380-8544 長野市西長野 6 の口	TEL (026) 238-4044
工学部入試事務室	〒380-8553 長野市若里 4-17-1	TEL (026) 269-5055
農学部入試事務室	〒399-4598 上伊那郡南箕輪村 8304	TEL (0265) 77-1310
繊維学部入試事務室	〒386-8567 上田市常田 3-15-1	TEL (0268) 21-5310
学務部入試課	〒390-8621 松本市旭 3-1-1	TEL (0263) 37-2192

- 信州大学ホームページアドレス <http://www.shinshu-u.ac.jp/>
- 携帯電話サイトアドレス <http://daigakuic.jp/shinshu-u/>



発行: 信州大学(平成 25 年 7 月) 編集: 信州大学学務部入試課